	No. 8 —	1 基本事務事	業名を狂え	犬病予防	事業	事	務事業	名 狂ス	と病予防事 🤅	業		公的関与	1 シ	ノート作成日	平成25年	₹6月27日
	部局名		市民部		課名	璟	環境衛生	課	主務課長	長名	菔	泰川靖人	シー	ート作成者名	兼	中豊久
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事	務事業	O 5	5 補助:	金•負担金•;	支援	車業点	運営方法	1 <u>[</u>	直営	□ 3 全	部委託
	争未应力	O 2 11-15	事業		4 施設の維	持管理	\bigcirc 6	3 内部	管理事務・そ	の他	争未以	里舌刀広	√ 2 -	一部委託	4 補	亅
		基本構想(政	(策) 2.	安全・安	心のまちづく	J			実施計画				事業	≰の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (1))保健•医	療の充実			0	1 該当		平成	年	~ 平	^Z 成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(6))精神保健	建∙難病∙感染	:症対策	の推進	. •	2 非該当		根拠	法令等	狂犬病予	予防法		
		対象(誰を、 何を)	犬の飼し	小主												
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	現在の館	引い犬の登録・	移動∙死	亡∙狂犬	:病予防	対策の円滑な	実施で	を目的と	します。				
PL		たいのか)	今年度	現在の館	引い犬の登録・	移動∙死	亡∙狂犬	:病予防	対策の円滑な	実施で	を目的と	します。				
A		具体的にどの	りようなえ	活動を行し	<i>ハ</i> ますか。(ヨ	Eなもの	5つまで	<u>(</u>								
N		① 犬の新規	登録													
	事業の	② 犬の死亡														
	活動内容	③ 犬の狂犬	病予防范	主射の実施	<u>F</u>											
		4														
		5														
		指標名	各	計算式又	又は指標設定	理由	単位		平成 2	3 年度		平成 24		平成 25		最終目標
	数値目標	接種率		注射宝施	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	数	%	目標			100		100		100	
	(事業の目的			12/17/10			, ,	実績			58.9		56.5			
	及び活動内	 予防注射の広報	啓発	接種率の	向上			目標			2		2		2	
	容の達成度 を測る指標)			12121				実績			2		2	2		
	ではいの日本							目標								
	マケまり	△ =11		60	. A = I		+4	実績			- -	/ロ /z± /±- /	上世		T四 1立 体 し	#
	予算費目	会 計	ित		t会計 23 年度》	h 65		4 衛生	±賀 年度決算	· 177	項 1	保健衛生		目 5	環境衛生	L 質
		国庫支出		P成 2	23 年度》	千円	平成	24	平及沃昇 千	_	成	25 年	度予算 ^{千円}		備考	
		県支出	金		50	千円			66 ∓1				86 千円			
		原 又 山 地 方	債		30	千円							千円	-		
D	直接事業費	その他特定則			1,068				1,103 ∓।	_		1	083 千円	_		
O		一般財	源		1,000	千円			1,100 11 +1	_		1,	500 +11 千円			
		計(A)	WAS .		1,118				1,169 千I			1	169 千円	4		
		正職員工数:	経費 0	.500 人	3,022		0.500	, T	2,981 ∓I		500 人		9 41 千円	_		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		/	-0,022		,		_,=,-	1		,		1		
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0	千円	0.000	.	0 千I	円 0.	000 人		0 千円	1		
	全体事	業費(A+B)			4 140				4 150 ±1	_		4	110 壬四			

				チ	ェック項目					_	-次評値	 	_	-次評価の	説明			二次	評価	
		1.		なくても、公	平性・公正	E性t	が確保できる等影響は大きくが		0			大きい	狂犬病予	予防法施行規 るので必要	見則で		少な	1	大	こきい
	必要	2.					する緊急性が認		. 0	ない	0	ある				Ī	○ ない	١	● あ	 る
	要性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手	没、プ	ち法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない				İ	<u></u>		● な	ill
		4.		の低下がみら ごスとなって		丘隣目	自治体と比較し	してニーズを	0	いる	•	いない					O いる	١	• L'	ない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	い	いえる	狂犬病う	予防法施行規 さます	見則で	定め	○ <i>い</i> え	ない.	● い	える
	有	2.	事業内容のマン	シネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	ι	いえる	91000	'ታን ፡		ľ	○ <i>い</i> え	ない.	⊙ ι	える
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复し <i>†</i>	た事務事業がる	存在する。	0	する	0	しない				Ī	O)	○ L	ない
HECX		4.	事業の継続る	をしても成果	の向上が其	期待で	できない。		0	できな	い	できる					○ でき	ない	⊙ ₹	きる
C		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	ている	ると思う。		0	目標に	比べて貧	片っている		対接種接種を			○ 目標	に比べ	て劣って	ている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上が	がって	ていないと思う	う。	0	あまり.	上がってし	いない		ています。	У СС	(W)	● あま	り上が	っていない	۱,
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	してし	ハると思う。		0	概ね達	述成してに	る				ľ	概ね	達成し	ている	
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	成して	ていると思う。)	0	十分達	を成してに	いる					〇 十分	達成	している	
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				0	高い	0	適当		予防法施行規 るので他の			○ 高に	١	● 道	鱼当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	制度で	を活用できる。)	0	できる	•	できない		は活用できま			○ でき	· る	⊙ ₹	きない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施	手段等	等を見直す余均	也がある。	•	ある	0	ない					ある		な	t()
		4.	電子化や契約	的方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余均	地がある。	0	ある	•	ない					🔾 ಹಕ		● ħ	ill
					_	·次評								二岁	內評価					
	評値	西点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合語	呼価		必要	性	有効性	達成度		効率性	生	総	合評価	ā
		を の	4 ○ 拡大·充	宝	<u> 3</u> 状維持		<u> 3 </u> 方法改善	A ○ 民間委	江笙			 大•充実	4 ┃● 現物	2 平然 t t =	<u></u> ○ 方	<u>3</u> 法改善	\$	足匹	<u>B</u> 委託	*
		をいり	○ 縮小		<u>水雌时</u> 終期設定			〇 民间安	164				_			止/休		民间	女司(5	1
A	731	712	○ 111日・1				光 亚/					_) 指摘事項				違占		
ACT-O		面の !題	未登録の犬だ	がいるので、登	録し予防持	妾種を	を受けてもらいる	ます。		Ī	台 八十			、広報手段等						
N	وع	革案 実行 ·画	全飼い主に広	気報等で周知し	ン、狂犬病 ⁻	予防持	妾種100%を目	指します。			式刊 (-Ⅵ忠畝で	はなる。	、/4天天 子交号	, ,,,,,,,	. 人 / / / / / / / /	女しり。			
		員会 事項																		

	No. 8 —	2 基本事務事	業名 墓:	地管理事業	集	事務事業	業名 墓:	地管理事業		1	公的関与 1	シート作成日	平成25	年6月28日
	部局名		市民部	3	課名	環境衛生	主課	主務課長	名	藤川	靖人	シート作成者名		林英司
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業	5 補助	金・負担金・ま	₹援 📗 🛓	業運営	* * *	1 直営	3:	全部委託
	争未区方	O 2 11-1	事業	•	4 施設の維持	管理 〇	6 内部	管理事務・そ	の他	未理占	5万法 🔲	2 一部委託	4	補助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環境	竟のまちづくり			実施計画			=	事業の開始・終	了	
	総合計画	基本計画(施	(4)廃棄物処	1理等環境衛生	対策の充実)1 該当	7	· 成	年 ~	平成	<u> </u>	間設定なし
		主要施策	(5)市営墓地	の適正管理		С)2 非該当	7	退拠法*	令等 阿波	市墓地設置及び	管理条例	
		対象(誰を、 何を)	市管理	墓地ほか										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	市営墓地	の適正管理を図	ります。								
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	のような	活動を行し	ゝ ますか。(主な	もの5つま	で)							
N		① 市営墓地	の使用語	許可申請に	基づき現地確認	後許可証の	交付							
	事業の	② 改葬許可	申請に	基づき許可	証の交付									
	活動内容	③ 市営墓地												
)	骨堂及び	バ火葬場の約	経営等の許可									
		5												
		指標名	各	計算式又	(は指標設定理)	由 単位		平成 23	年度	平	成 24 年度	平成 2	5 年度	最終目標
	数値目標				め指標設定はな	じ	目標							
	(事業の目的			まない。			実績							
	及び活動内						目標							
	容の達成度を測る指標)						実績							
	CW10111W/						目標							
	マ佐井口	<u> </u>		ήП.	ᄉᆗ	± <i>h</i>	実績		+	4 1/5	口/4.45.4. 弗		四块分	- # #
	予算費目	会 計	1 7	一般 F成 2		款 平成	4 衛: 24	生質 年度決算		25	保健衛生費 年度予		環境衛 備考	生質
		国庫支出		广风 2	<u>・ </u>		24	<u> </u>		20		异	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		県 支 出	金		140 千							<u> </u>		
		原 又 山 地 方	債		140 干i			<u> </u>	4			<u> </u>		
D	直接事業費	その他特定			1,308 🛨			2,430 千円			1,200			
O		一般財	源		232 千						766			
		計(A)	WAY.		1,680 1			2,430 千円			1,966			
		正職員工数:	経費 0).560 人	3,385 ∓I		人	3,338 千円		人	4,117			
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		/\	.,		- 7	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		- ,	.,	-		
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0 ∓।	円 0.000	人	0 千円	0.000	人	0 :	千円		
	全体事	業費(A+B)		<u> </u>	5.065 ∓1	m m		5,768 千円			6,083	千円		

			チェック項目		一次評価		_	·次評価の説	田日	— _汝	マ評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	少to		۴L۱	市民の墓	地へのニース市内墓地の有	は増えて	<u> </u>	● 大きい
	必	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	ない	<u></u>			、求められてし		○ ない	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<u></u>	ない	١				ある	○ ない
	_	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	O いる	● いな	ill				いる	いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ <i>い</i> え	ない ① いえ	.る		の墓地があるこは、区画整理		○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ <i>い</i> え	ない ① いえ	.გ	道の整備	を図り、有効的	りに既存	○ いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	する	しな	١١	墓地を使	う必要がありる	ます 。	○ する	● しない
HECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ でき	ない ② でき	·る				○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標	に比べて劣ってし	いる		ーズにあった おり、計画的		○ 目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あま	り上がっていない			必要がありま		○ あまり上か	べっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	概	達成している					● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	O +5	↑達成している					○ 十分達成	えしている
		1.	効果に比べてコストが高い。	〇高に	() 適当	当		、171ケ所の墓 里道等がない		○ 高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ でき	る ① でき	ない	くある、ま	た整地等が出	来ていな	○ できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<u></u>	● ない	١	い場所も ません。	あり、効率性に	まよくめり	<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	ある	○ ない	١				ある	○ ない
			一次評価					二次評	-		
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価	必要性		剪效性	達成度	効率性	生 総	合評価
	<u> </u>	を の	3 4 3 3 A A A C C C C C C C	L 生	3 ○ 拡大·充	宝宝	4 ● 現状	3 ≿維持 ()	<u>3</u> 方法改氰	<u> </u>	<u>A</u> 間委託等
		をいり		L 寸			統合/終	_	廃止/休		申女礼寺
A	731	-) II	○ 桐小 ○ 桃白/ 杉舟成と ○ 焼血/ 杯正		- 1111					価との相違い	<u></u>
ACT-O		面の 題	市営墓地(有料、無料)の数も少なくなっており、無料墓地の有効的な管が必要です。また、経営許可に付随する条件等の整備をまとめるには司等の人材も必要です。		古くからあり、	墓地				ででで、 できる できまれる こうない こうない こうない はんしん でんしん でんしん でんしん でんしん いいい はんしん いいい はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	
N	وع	革案 実行 ·画	市営墓地の有効的な活用と、市民のニーズにあった墓地の管理が必要	です。	行ってください	١,					
		員会 i事項									

	No. 8 —	3 基本事務事	業名 公	共施設動物	勿死体処理事務	事務事業	名 公共	共施設動物死	体処理事			ノート作成日		年6月27日
	部局名		市民部	•	課名	環境衛生		主務課長		藤川靖ノ		ート作成者名		中豊久
	事業区分	1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•支		業運営方法		直営		è部委託
	争未区力	O 2 / 1-1			4 施設の維持管	理	6 内部的	管理事務・その	の他 デ	未连占力.	<u>√</u> 2 -	一部委託	4 补	甫助等
					竟のまちづくり			実施計画				美の開始・終了		
	総合計画				1理等環境衛生対			1 該当	平		•			設定なし
		主要施策	(1	1)ごみ収集	・処理体制の充乳	実	<u> </u>	2 非該当	根	拠法令等	廃棄物の	の処理及び清掃	に関する	法律
		対象(誰を、 何を)	道路等	の動物の死	体									
	事業の 対象・目的	目的(どうい	最終的	道路等の	動物の死体を収集	し、処分を	すること	により快適な生	≦活環境を	確保します	0			
PL		う状態にし たいのか)	今年度	道路等の	動物の死体を収集	し、処分を	すること	により快適な生	活環境を	確保します	0			
A		具体的にどの	のような	活動を行し	いますか。(主なも	の5つまで	(E)							
N		① 動物の死	体の収	集運搬										
	事業の	② 動物の死	体の処	分										
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	名	計算式又	スは指標設定理由	単位		平成 23	年度	平成 2	24 年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標	 処理件数(実績値	i)			件	目標							
	(事業の目的		- <i>r</i>			''	実績		348		420)		
	及び活動内						目標							
	容の達成度 を測る指標)						実績							
	CW10101W/						目標							
	予算費目	会 計		ńπ	会計	± <i>h</i> 2	実績 4 衛生	<u> </u> ⊢#-	⊤ ∓	4 /D /7±4		目 5	T四 + 立 / 2: /	+ 建
	丁 异复日	云 訂	7	一 _板 平成 2		款 平成	4 1415	_{上貝} 年度決算	項 平成		^{乳生質} 年度予算		^{環児倒置} 備考	上其
		国庫支出		一	<u>・ </u>	十八	24	<u> </u>	十八人	20	<u> </u>		1用~7	
		県支出	金		4,610 千円			6,145 千円			7,167 千円			
		八 八 山 地 方	債		千円			<u> </u>			7,107 117 千円			
D	直接事業費	その他特定			千円			千円			千円			
Ō		一般財	源		4,536 千円			4,536 千円			4,536 千円			
		計(A)			9,146 千円			10,681 千円		-	· 11,703 千円	ī		
		正職員工数:	経費 (0.100 人	604 千円	0.100	人	596 千円	0.100	人	588 千円	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯	^{銭種}									1		
		臨時·嘱託工数·	·経費(0.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円			
	全体事	業費(A+B)			9,750 千円			11.277 千円		-	<mark>[2.291</mark> 千円			

				チェ	ック項目					_	次評(西	_	−次評価 <i>0</i>	つ説明]	=	次記	评価
		1.	市が実施しな主体があり、	こくても、公平 事業を廃止・					0	少ない	•	大きい	上からも	本の処理は 早急に回り			○ 少ない	١	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	代況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が記	忍められない。	0	ない	•	ある	あります	0			○ ない		ある
	性	3.	住民満足度の向	う上のために、	現在の手段	3、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない					<u></u>		● ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ)低下がみられ ごスとなってし		[隣自	治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	•	いない					いる		● いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容	₹が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえな	, <u>Θ</u>	いえる		▲は、不衛生 :め、市民に			○ いえな	い	● いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	を策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	۰, O	いえる		を願うもの			○ いえな	い	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複	した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					○ する		● しない
HECK		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待て	ごきない。		0	できなり	,\ <u> </u>	できる					○ できな	い	● できる
K		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	いる	らと思う。		0	目標に	比べて貧	劣っている	動物を飼	養する市 る事故死+	民も増れませる	え、脱 ている	○ 目標に	比べ	て劣っている
	達成	2.	目標設定に対	けして成果があ	あまり上が	べって	いないと思う	5.	0	あまり上	_がってし	いない	中、市民	の通報に	屋滞な	く対応	○ あまり_	上がっ	ていない
	度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		•	概ね達	成してに	いる	できてい	ます。			● 概ね達	成し	ている
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達	成して	いる					○ 十分遺	を成し	ている
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い	•	適当		モにより事業 対応をしてい			○ 高い		● 適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	新たな制	度を	た活用できる。		0	できる	•	できなし		1,0,000	0.7	O	○ できる		● できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	₹を見直す余₺	也がある。	0	ある	•	ない					<u></u>		● ない
		4.	電子化や契約	力方法の変更な	ょどにより	コフ	スト削減の余均	也がある。	0	ある	•	ない					<u></u>		● ない
						次評							•		次評值				
	評值	西点	必要性	有効性	達成原		効率性 4	総合評	価		必要	-	有効性 4	達成度	麦	<u> </u>	生		合評価 A
	今往	を の	-			0	方法改善	○ 民間委託	托等	(大·充実			0 ;	 方法改氰	善 ○ 月		<u>A</u> 委託等
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	0	廃止/休止		_) 縮	- '		以期設定		廃止/休			
ACT													次評価での)指摘事項	夏及び	一次評	価との相談	皇点	
TIO		画の	市民からの通	報がない場合	、迅速に対	が応か	べできません。												
N	と多	革案 実行 画	動物の死骸処います。	1理は、早急に	回収する必	必要が	があるため、業	者委託により込	迅速に]生面 ²	や道路等	·公共施設 <i>0</i>)管理上、約	継続す 	「る必要≀	かあります。		
		員会 i事項																	

	No. 8 —	4 基本事務事業	名 地球温	暖化	事務		事務事業	集名 地 3	球温暖化対策	策事務		公的関与 1	シー	卜作成日	平成25年	₹6月27日
	部局名	Ħ	7民部		課名		環境衛生	E課	主務課長	長名	蔣	川靖人	シート	·作成者名	森口	1美紀子
	市業長八	○ 1 ソフト事	業	•	3 経常的事	務事	業 〇	5 補助	金•負担金•	支援	古来归		1 直営	<u> </u>	□ 3 全	部委託
	事業区分	○ 2 ハード事	業	0	4 施設の維	持管	里 〇	6 内部	管理事務・そ	の他	争耒坦		2 一音	『委託	□ 4 補	助等
		基本構想(政策	<mark>〔)</mark> 3. 美l						実施計画			=	事業の	開始•終了		
	総合計画	基本計画(施策	<mark>(1)環</mark>	境の係	マイス			0	1 該当		平成	20 年 ~	平成	25 年	期間	設定なし
		主要施策	(1)地均	或環境網	総合計画(環境	意基本	計画)の第	定	2 非該当		根拠	去令等 地球	温暖化	の推進に関	する法律	第20条の3
					美者」及び温文 社会に向けて:)対象者	≟して毎年度排出	量の記	調査の結果	を国・県に	報告すると共
	事業の 対象・目的				づき本市が策 5年度までに2							⊤政事務・事業よ	り排出	された平成	19年度の	排出量に対
PL		う状態にしたいのか)			は平成25年/ 達成に取り組			実績)調	査中である。	調査及	び分析の	D結果、各施設 <i>0</i>)課題(こ職員が率	先して取り	組み本市の
A		具体的にどの。	ような活動	を行し	いますか。(主	こなも	の5つまで	で)								
N		① 各施設の職	員はソフト	的取紛	1実施を必須エ	頁目と	して設定し	CO2の	削減に取り組	みます	0					
	事業の	② 市は、今後	の建設計画	画や設備	備更新計画に	新エネ	ヘ・省エネホ	機器の導	真入を検討しま	す。						
	活動内容	④ 調査結果を公表し、市民に対し施設利用節電、節水の意識啓発を図ります。														
	④ 調査結果を公表し、市民に対し施設利用節電、節水の意識啓発を図ります。															
⑤ 住宅用太陽光発電設置の補助金交付を実施します。																
		指標名	計	算式又	なお指標設定	理由	単位		平成 2	3 年度	Ę	平成 24 年度		平成 25	年度	最終目標
	数値目標	温室効果ガス削減目	1 煙 泡	安効里	ガス排出量		t	目標		4,	125	4,1			4,090	4,090
	(事業の目的	温主効木パハ門派に	11 1 5 /Ш	王끼不	の八折山里		,	実績		4,3	322	集計	中			
	及び活動内							目標								
	容の達成度 を測る指標)							実績								
	で別の出法						L	目標								
	- 	A -11		4-	A = I	J		実績					_		I-m 1- / 1	
	予算費目	会 計	L	一般		- <i>h</i> -	款	4 衛生			項 1	保健衛生費		目 5	環境衛生	E質
			平成	2	3 年度決		平成	24	年度決算		成 :	25 年度予算			備考	
		国庫支出3				千円			千	_			千円			
			金 (*)			千円			千 -	_			千円			
	直接事業費	地 方 作	責			千円			Ŧ				千円			
DO					3,745	千円			子 2 014 エ				千円			
U		一般財 計(A)	原						3,214 千			,	千円			
		正職員工数·経	費 1.000	١ ١	3,745 6,044		1.000		3,214 千 5,961 千		000 人	3,681 = 5,882 =				
	人件費(B)	正順貝工数·控 臨時·嘱託職科)人	0,044	十円	1.000	<u> </u>	J,901 +	J. I.	000 人	3,882	T-173			
	八十貝(D)	臨时·嘱託工数·経) I	0	千円	0.000	, l	0 ∓	п 0.0	000 人	0 =	ı.m			
	全休車:	業費(A+B)	貝 0.000	, ,	9,789		0.000	<u> </u>	9,175 ←		JUU /	9,563				
	土冲争为	未其(ATD)			9,709	十円			9,175	-)		9,003	十円			

				エー	ック項目				一次評価			次評価の	ハ 言出 PF			二次	₹ (邢	
		-	士 珍中长!			サギが ロッキック	生 小の中生				<u>ー</u> 調査は国・							
	,	1.				性が確保できるst も影響は大きくれ		(少な	い・大	さい	められてお	り、実行計	画の第	定は必	0	少ない	大	きい
	必要	2.	厳しい財政制	[、] 況の中、次年	F度以降実	施する緊急性が調	認められない。	。 ○ ない	<u> </u>	ර -	要です。類 です。又、ī	民向け個	人住宅	用太陽	0		● あ	
	性					、方法等の改善の		<u></u>	ない		光発電シス は高いと思		助金は	ニーズ	0	ある	● な	い
		4.)低下がみられ <u>ことなってし</u>		隣自治体と比較	してニーズを	いる	● いた		.01/2/0				0	いる	• (v	ない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	が必ずしも適切と	はいえない。	○ <i>い</i> え	ない ② いき		全公共施設す。マンネリ				0	いえない	• L1	える
	有効	2.	事業内容のマン	vネリ化など、カ	施策への 貢献	きしく高いと	はいえない。	いえ	ない 〇 いき	3 A	は各施設σ が課題に取	分析を行	ってお	り、各課	0	いえない	• m	える
G	性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複	した事務事業がる	存在する。	する	● した	はいけ	た市民への ム補助は、(住宅用太	陽光発	電システ	0	する	● U7	ない
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の)向上が期	待できない。		○ でき	ない ② でき		球温暖化剤			11119 16	0	できない	で	きる
C		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	いると思う。		● 目標	に比べて劣って		調査報告の 査中です。か				0	目標に比り	べて劣って	いる
	達出	2.	目標設定に対	けして成果があ	あまり上が	っていないと思っ	う。	○ あま ¹	り上がっていない		渉状況は劣⋅ 時と現状の[•	あまり上が	っていなし	١
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	ていると思う。		〇 概ね	達成している		きく変わった ルギー排出				O :	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	していると思う。	o	〇 +分	達成している		めどの自治化				O .	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,			〇高に	○ 適		全庁各課施活				0	高い	適	当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	5新たな制	度を活用できる。)	○ でき	る		のみに見直 ⁻ できる。但し				•	できる	○ で	きない
	性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	ご、実施手!	段等を見直す余均	地がある。	<u></u>	ない	را ا	現状取り組∂ 光補助金に	ついては市	単独予算	草の範囲	0	ある	な	い
		4.	電子化や契約	方法の変更な	こどにより	コスト削減の余均	地がある。	් ある	ない		で多くの方に は必要かとも		の見直	しが今後	0	ある	な	い
					一次	マ評価						=	次評価	6				
	評估	H T	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	必要性	有	効性	達成原	上文	効率性	生	総	合評価	
	pT II	山爪	4	3	1	4	В		4		4	2		3			В	
		後の	○ 拡大・充			● 方法改善	〇 民間委託	托等	○ 拡大・3		○ 現状		O 7	与法改善	小	○ 民間]委託等	于
A	方向	可性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小		統合/終			整止/休				
\overline{c}			温室効果ガス	の換算に用い	る雷力排出	係数は、毎年度変	変動しますが東	日本大		二次計	平価での	指摘事項	及び	一次評	価との	り相違点	į	
A C T	当译	5 A				べ格段に上がった												
i	- 1 14	リレノロ																
	課			皮市でも削減目	目標の2.1%:	進捗状况かかなり	りあつに。このか	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\										
0			上がった。阿洋 善する方法は	皮市でも削減目、更なる節電対	対策しかない	いがその方法は厳	しいです。		44.14.12.12.12.12	÷÷∽.	心曲性生	殴号の:	空 举古	·+= +	7 .iv ==	*************************************		
0	課		上がった。阿注 善する方法は 平成25年度調	皮市でも削減目 、更なる節電対 査後阿波市実行	対策しかない 計画の見直	、がその方法は厳 しがある。時期は平	しいです。 F成26年4月以	降、平成2	地球温暖化	対策の』	必要性等	、職員の	意識高	揚を図る	る必要	がありま	す。	
0	課	題	上がった。阿注 善する方法は 平成25年度調 5年11月の電	皮市でも削減目 、更なる節電対 査後阿波市実行 力排出係数によ	対策しかない 計画の見直 る為電力不足	ヽがその方法は厳 こしがある。時期は平 この影響はまだ厳し	しいです。 成26年4月以際 い状況と予想さ	降、平成2 れる。削減	地球温暖化	対策の』	必要性等。	、職員の意	意識高	揚を図る	る必要	がありま	す。	
0	課改革	題案行	上がった。阿注 善する方法は 平成25年度調 5年11月の電: 目標はこれにな	皮市でも削減目、更なる節電気 、更なる節電気 査後阿波市実行 力排出係数によ もなれるが市と	対策しかない 計画の見直 る為電力不足 しては公用車	、がその方法は厳 しがある。時期は平	しいです。 『成26年4月以『 い状況と予想さ』 機器を採用する	降、平成2 れる。削減	地球温暖化	対策の』	必要性等	、職員の対	意識高	揚を図る	る必要	がありま	す。	

	No. 8 —	5 基本事務事	業名 飲料	料水供給	施設事業	事	務事業	名 飲米	斗水供給事	務		公的関与	7 1	シート作成日	平成25年	年6月26日
	部局名		市民部		課名	環	境衛生	課	主務課	長名		藤川靖人	S	レート作成者名	古	谷昌寛
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的事務	务事業	5	補助金	金·負担金·	支援	事 幸	運営方法	1	直営	3 ≦	产部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	•	4 施設の維持	寺管理	0 6	内部领	管理事務∙	その作	也	连舌刀压	✓ 2	一部委託	4 ¥	前助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環	境のまちづくり	J			実施計画	<u> </u>			事	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2))水道の軸	を備			0	1 該当		平成	年	~	平成年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3))水道事業	美の健全運営			0	2 非該当		根	処法令等	阿波市	ī飲料水供給施設	の設置等	に関する条例
		対象(誰を、 何を)	飲料水值	共給施設(5箇所)											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	安全でお	いしい水を安定	E供給し	ていかな	ければ	ならないた	め、最	終的には	上水道への	の統合を	目指します。		
PL		たいのか)	今年度	市内に5	箇所ある飲料』	k供給施	設の内、	. 4箇所	は施設の老	朽化	が進み、	当面は維持	管理を循	敵底します。		
A		具体的にどの	りようなえ	舌動を行し	ハますか。(主	なもの	うつまで)								
N		① 施設の管														
	事業の	② 水質管理	1													
	活動内容	③ 安全でお	いしい水	の安定供	給											
		4														
		⑤														
		指標名	各		スは指標設定理		单位		平成 2	23 年	度	平成 24	年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標	給水戸数			の把握(H24か	ら		目標								
	(事業の目的	77.77		給水戶到	実態見直し)		•	実績			131		6	65		
	及び活動内 容の達成度	水質検査		検査項目	数	I		目標								
	谷の達成度 を測る指標)							実績			12		1	12		
	と別の日本							目標								
	マケまり	<u> </u>		<u>фп</u>	. A =1			実績				↓ /□ / ;本体*	上曲		<i>^</i> /21/21 −14 /	# 4∆ + /- =□. #
	予算費目	会 計	ित्त		会計	左		4 衛生		4	項	1 保健衛				共給施設費
		国庫支出		Z 成 2	!3 年度決	·异 - 千円	平成	24	年度決算	子	平成	25 全	F度予算 ~	<u>₹ </u> 円 H25は陸上ホ	備考	= 松曜 7
		県 支 出	金			千円				円				円 ため予算計_		用が、押入り
		地方	亚 債			千円				円			 千		- 0	
D	直接事業費	その他特定則				千円				円			 千			
O		一般財	源			千円				-円		1	<u>'</u> ,171 千			
		計(A)	///\			千円			-	-円			,171 <mark>,171</mark> 千			
		正職員工数:	経費 0	.160 人).160 人				0.160 ノ	_	941 +			
	人件費(B)							`			21.00 /	•	,,,			
	· (1) 5€ (2)	臨時·嘱託工数·		.000 人	0	千円 C	人 000.0		0 T	-円	0.160 ノ		0 ∓	·P		
	全体事	業費(A+B)				千円				· д			112 +			

			チェ	ック項目				一 岁	欠評価		_	-次評価の説	明	二》	欠評価
		1.	市が実施しなくても、公平 主体があり、事業を廃止・				0	少ない	大き	<u>\$</u> [1	生活を営きません。	むうえで、欠く 。	ことがで	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年	度以降実施す	トる緊急性が認	忍められない。		ない	ある)				○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、	現在の手段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	ない	١				<u></u>	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ 上回るサービスとなってい		目治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	● <i>い</i> た	ιlι				○ เงื	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、	事業内容が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえない	• いえ	.a		より給水戸数 を朽化した施詞		○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、旅	策への貢献度を	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	いえ	. 3	管理して	いくためには、	どうして	○ いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類	似・重複した	と事務事業が存	字在する。	0	する	しな	ı۱۱	ならず、台	等に反映させ う後の維持管		する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の	向上が期待で	できない。		•	できない	○ でき	る	難となりる	ます。 		● できない	○ できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況	!が劣っている	ると思う。		0	目標に比	こべて劣ってし	いる		炊料水の供給 要があります。		○ 目標によ	べて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があ	まり上がって	こいないと思う	5 。	0	あまり上が	がっていない		C 0 1 (2.13	<i>χη ω</i>		○ あまり上;	がっていない
	皮度	3.	目標設定に対して概ね目標	を達成してい	いると思う。		•	概ね達成	している					● 概ね達成	えしている
		4.	目標設定に対して十分に目	標を達成して	こいると思う。		0	十分達成	艾している					○ 十分達成	艾している
		1.	効果に比べてコストが高い	١,٥			•	高い	○ 適	当	今後、維ます。	持管理等が困	難となり	● 高い	○ 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや	新たな制度を	と活用できる。		0	できる	● でき	ない	670			○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で	、実施手段等	ទを見直す余 均	也がある。	•	ある	○ ない	١				ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	どによりコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	ない	١				<u></u>	● ない
				一次評							•	二次訓			•
	評値	西点	必要性 有効性 4 3	達成度	効率性	総合評	価	:	<mark>必要性</mark> 4	1	<mark>有効性</mark> 3	<mark>達成度</mark> 3	効率	生糸	^総 合評価 B
	今後	きの しょうしょう	<u> 4 </u>	3 :維持	2 方法改善	B ○ 民間委詞	托等	\bigcirc		<u> </u> 実			<u> 2 </u> 方法改善	美 〇 民	 間委託等
Δ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終		廃止/休止		<u> </u>	C		0	統合/終		廃止/休		
C										二次	評価での	指摘事項及	び一次評	価との相違	点
ACT-0		面の!題	過疎化及び施設老朽化により	り管理運営が原	厳しくなっている	ます。									
Ō												ンにより維持管 理委託のでき			が、保健衛生は、季託を検
N		革案 実行	水質管理を徹底し、安全でお	いしい水の安	定供給を目指	します。残る1カ	施設に				ж с 7 。 Б	2. 交品(0) CC			16. AUG.
		E11	いては、整備すべき箇所は整	を備して管理委	託を進めたい	と考えます。 									
		員会 事項													

	No. 8 —	6 基本事務事	業名ご	み関係広幸	服啓発事務	事務事	業名ご	み収集カレング	ダー作成	事務 公的関	与 3 シ	ノート作成日	平成25年	年6月28日
	部局名		市民部	祁	課名	環境律	生課	主務課長	:名	藤川靖人	シ	ート作成者名	神	月顕仁
	事業区分	1 ソフト	事業	•	3 経常的事務	事業) 5 補助	金・負担金・ラ	え援 車	業運営方法	<u> </u>	直営	□ 3 ≦	È部委託
	争未区刀	0 2 N-F			4 施設の維持	管理() 6 内部	『管理事務・そ	の他	未连占力点	2 -	一部委託	4 神	前助等
		基本構想(政	(策) 3.	. 美しい環境	境のまちづくり			実施計画			事業	≹の開始∙終了	•	
	総合計画	基本計画(施	(4	4)廃棄物処	且理等環境衛生	対策の充	実(1 該当	平	d 成 d	६~ म	P成 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1	1)ごみ収集	・処理体制の3	定実	(2 非該当	木	艮拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	市民											
		目的(どうい	最終的	<mark>ケ</mark> ごみカレン ていきます	ンダーの紛失がで す。さらに、ごみの	できるだけ <i>!</i> の出し方だ!	少なくなる けでなく、	ように呼びかけ 減量化・リサイク	ます。また ナルについ	こ、ごみの出しても広報誌や	方(分類)が CATVでも	が分かりやすくた も今年度と同様	よるように に啓発し	内容を検討し ていきます。
PL		う状態にし たいのか)	今年度		ンダーについては で2部、3部と求め				部数である	るが、配布して	てあるにも関	関らず紛失した。	とのことで	一人(もしくは
AN		具体的にどの	のような	活動を行し	ヽますか。(主な	もの5つま	まで)							
N		① ごみカレ	ンダーの)作成										
	事業の	② ごみカレ	ンダーの)配布										
	活動内容	③ ごみの減	量化・リ	リサイクルに	関する啓発									
		4												
		⑤												
		指標名	各	計算式又	なは指標設定理	由単位		平成 23	年度	平成 2	4 年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	ごみカレンダー作	成枚数	必要数を	把握するため	枚	目標実績		19,000		17,600			
	及び活動内			必要なコ	ストを把握するた		目標		·		·			
	容の達成度	ごみカレンダー印	刷裂本質	め			実績		299,250		291,984	1		
	を測る指標)	ごみカレンダー配	女子 粉料	必要なコス	ストを把握するた	: _円	目標							
			小小丁蚁科	Ø)			実績		311,430		289,380			
	予算費目	会 計		一般		款				2 清掃費		目 1	清掃総	<u> </u>
				平成 2			24	年度決算	平成	25 -	年度予算		備考	
		国庫支出				·円		千円			千円			
			金			·円		千円			千円			
	直接事業費	地 方	債			·円		千円	+		千円	_		
D		その他特定原				·円		千円			千円			
0		一般財	源		611 ∓			611 ↑ E			677 千円	_		
		計(A)	クサ	0.040	611 ∓		\	611 千円			677 千円			
	し 供 建 / ワン	正職員工数:		0.210 人	1,269 T	円 0.210	人	1,252 千円	0.210	人	<mark>1,235</mark> 千円	4		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶 臨時·嘱託工数·		0.000 人	0 -	円 0.000	\ I	0	0.000		0	_		
		^{臨時・嘱託工数・} 業費(Δ+B)		0.000 人	0 ∓ 1,880 ∓		, <u> </u>	0 千円 1.863 壬円			0 1 912			

					ック項目					一次	評価			·次評価の				二次記	评価	
		1.	市が実施しな主体があり、	♪くても、公平 事業を廃止・	F性・公正 ・休止して	性が も影	確保できる等	等、他の実施 ない。	〇 少	ない	● 大き	٠L١	民生活に	が厳しいと おいて必須			○ 少な	い	• ;	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	なし	۸,	ある		も当然必	要です。			○ ない		• 7	ある
	女性	3.	住民満足度の応	句上のために、	現在の手段	大方	法等の改善の	余地がある。	● ある	3	○ ない	1					● ある		O 7	ない
		4.)低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	_ン てニーズを	○ wa	3	● いな	()					いる		Ο (いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とに	はいえない。	い方	えない	● いえ	る		- や広報誌 方が周知さ			いえ;	はい	Ο (いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	を策への 貢献	献度か	「著しく高いと	はいえない。	○ w	えない	いえ	る	での流れ	がスムース	ぐに行		○ いえ	はい	Ο (いえる
CH	性	3.	市が実施する	6施策の中で数	頁似・重複	した	:事務事業が存	存在する。	する	3	しな	い	おり、非常	常に有効で	9 。		○ する		Ο Ι	しない
E		4.	事業の継続を	€しても成果の	D向上が期	待で	きない。		ਂ ਾ ਰ	きない	● でき	る					○ できれ	はい	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		〇 目标	標に比/	べて劣ってし	る	によって、現	誤を重ねてこ 見状における	浸適な	伏態であ	○ 目標	に比べ	て劣っ	ている
	達成	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	うて	いないと思う	5 。	○ あま	きり上が [.]	っていない			ンダー不足I とかなり高額			○ あま!	上がっ	ていな	۲U
	皮度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		● 概	ね達成し	している			占りあわせた 。 できるだけコ			● 概ね	達成し	ている	,
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		O +3	分達成	している		いように努力	カしています。	•		〇 十分	達成し	ている)
		1.	効果に比べて	コストが高い	N _o				〇高	l,	適当	á		かるコストってきてい			○ 高い		• ;	適当
	効率	2.	他の実施主体	ロノウハウャ	5新たな制	度を	·活用できる。		<u></u> ਾ ਰ	≛ る	● でき	ない	は住民が	配布された	こカレ	ンダー	○ でき	3	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	● ある	3	○ ない	1	報し、発行	ごけ紛失し _亍 部数を減	らすこ	-215	ある		O 7	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	也がある。	● ある	3	○ ない	ı	よってコス	ストダウンを	目指	しま	ある		O 7	ない
					-	次評·									欠評值					
	評值	西点	必要性	有効性	達成度	Ŧ	効率性 2	総合評	価	业	必要性 3	1	<mark>与効性</mark> 4	達成度 3	Ę	<u> </u>	<u> </u>	総合	<mark>}評值</mark> B	西
	今後	を の					<u></u>	○ 民間委託		0	 拡大∙充	<u> </u> 実	● 現状		0 7	_	f O	民間		等
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定		廃止/休止			0	縮小	0	統合/終			廃止/休			_	
C												<u>二次</u>	評価での	指摘事項	及び	一次評	価との相	違点		
TIO	当課	面の :題	上記のように、 布にかかる費	、この事務にお 用の削減が重	いてのコス 要となりま	す。	で大部分を占	めるごみカレン	グー配	出に	ついて貢	献し	ているが今	い啓発を国 後も尚一	層の標	タ発及び	指導に努			
N	と事	と 行	保ちながら、た	刷にかかる費 なおかつ見やす 今後は部数を源	⁻ いものを作	乍るた	とめには、これ	で、ある程度の 以上のコスト肖 図ります。	品質を 減は非					・袋を考え 対する必要						
		員会 i事項																		

	No. 8 —	7 基本事務事	業名 生ご	ごみ処理権	幾購入補助事奠	業 事務事	業名 生	ごみ処理機購	入補助事	業 公的関-	与 3 🗦	シート作成日	平成25年	₹6月24日
	部局名		市民部		課名	環境律	5生課	主務課長	:名	藤川靖人	シ	·一ト作成者名	藤	本知也
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業	5 補助	金・負担金・ヲ	5援 ▮ ★ :	業運営方法	√ 1	直営	□ 3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持	管理(6 内部	管理事務・そ	の他	未理呂刀法	2	一部委託	4 補	亅
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環境	境のまちづくり			実施計画			事	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(4)廃棄物処	见 理等環境衛生	対策の充	実)1 該当	平	成 17 <mark>年</mark>	E ~ ∑	平成 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2)3R運動	の促進			2 非該当	根	拠法令等	阿波市電	氢気式生ごみ処理機	Ł設置事業 和	補助金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	阿波市区	内に住む住	所を有するもの	が居宅に設	と置する電	気式生ごみ処理	埋機及びそ	の購入者				
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	阿波市に	おける生ごみの	減量化及び	が資源化を	と図ります。						
PL		たいのか)	今年度	申請に基	づき予算の範囲	内で推進し	ンます 。							
A		具体的にどの	りようなえ	活動を行い	いますか。(主な	はもの5つき	まで)							
N		,			そ定後補助金を3									
	事業の	② 広報やホ	ニームペー	-ジに事業	内容の掲載をす	ることで、ホ	5民への周	別知をはかります	۲。					
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	<u>名</u>	計算式又	スは指標設定理	曲 単位		平成 23		平成 2		平成 25		最終目標
	数値目標	生ごみ処理設置数	数	予定設置	機数	機	目標		25		20	0	15	
	(事業の目的						実績		13			7		
	及び活動内 容の達成度						目標							
	春の建成度 を測る指標)						実績							
							目標 実績							
	予算費目	会 計		杭几	会計	訓		<u></u> 上弗	項	2 清掃費	1	目 1	清掃総務	女弗
	了异貝口	本 引	্য		3 年度決算			工具 年度決算			上 年度予算		備考	万良
		国庫支出		193, 2		年 1 /久 円	27	<u> </u>	_	20 -	上汉 	-	MH つ	
		県支出	金			-円			_		<u>' ' '</u> 千円			
		<u>ホ ス 田</u> 地 方	債			-円					 千円			
D	直接事業費	その他特定則				-円			_		 千円	_		
ō		一般財	源		367 ₹			600 千円			450 ↑ ₽			
		計(A)				-円		600 千円			450 千円			
		正職員工数:	経費 0	.260 人		-円 0.260)人	1,550 千円		人	1,529 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職												
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0 =	一円 0.000	入	0 千円	0.000	人	0 千円	9		
	全体事	業費(A+B)			1 939 ∃	- 円		2 150 壬四	1		1 979	4		

				チェ	ック項目					_	次評值	西	_	−次評価の)説明		二岁	マ評価
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	•	大きい	よって、信	l理機を使用 使用家庭の	生ごみの	の量	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が記	認められない。		ない	•	ある		こ減少する <i>†</i> 生ごみの漏			○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段	3、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		るには有效		.0.頁	<u></u>	● ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			[隣自	治体と比較し	してニーズを	0	いる	•	いない					いる	● いない
		1.	施策の目的を実	≅現するために	、事業内容	₹が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえなり	,	いえる		は量化に非常 多くの家庭			○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	施策への貢i	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	', O	いえる	必要があ		, ,		○ いえない	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で舞	類似・重複	した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					○ する	● しない
HUCX		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待て	ごきない。		0	できない	,	できる					○ できない	● できる
K		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	ると思う。		0	目標に	比べて貧	劣っている)申請件数:			○ 目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上か	「つて	いないと思う	5 。	•	あまり上	:がってし	いない	引き続き	事業の周知			● あまり上か	がっていない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる	がありま	す。		Ì	○ 概ね達成	している
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達	成してい	いる					○ 十分達成	えしている
		1.	効果に比べて	コストが高い	,۱۰				0	高い	•	適当		でも普及す			○ 高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	た活用できる。		0	できる	0	できない		業効果は高			○ できる	● できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	♀を見直す余 ♭	也がある。	0	ある	•	ない					<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約]方法の変更な	よどにより	リコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	0	ない					<u></u>	● ない
						次評					•			-	欠評価			•
	評値	西点	必要性	有効性	達成月	支	効率性 4	総合評	[価		<u>必要</u>	性	有効性 4	達成度	E 3	<u>効率性</u> ◢	生 総	合評価
	今後	を の	 ○ 拡大·充			\bigcirc	 方法改善	A ○ 民間委割	托等	(大•充実	•			 去改善		<u>A</u> 間委託等
Δ		句性	○ 縮小	○ 統合/終		Ō	廃止/休止				縮	小	4 L A +44		○ 廃」	止/休.	止	
ACT												二	欠評価での)指摘事項	及び一	·次評	価との相違,	点
10			生ごみ処理機 補助金制度の						動等									こあります。市
N		革案 実行 画	ごみの減量化	と資源化を図	るため、予	算の	範囲内で計画	i的に推進しま ⁻	す。	月	;=- <i>7</i>	ぐを把握し	ノ、他の処理	里方法等又 	、支援事	事業に [*]	ついても検討	してください。
		員会 i事項																

	No. 8 —	8 基本事務事	業名	ごみ袋に	関する	る事務	事	務事業	名 ごみ	が袋に関す	トる事	務	公的	与 3	シート	▶作成日	平成25	年6月25日
	部局名		市民	部		課名	環	境衛生		主務認			藤川靖,		シート	作成者名	亨	中豊久
	事業区分	① 1 ソフト			③ 3	経常的事務	事業	0 5	5 補助:	金•負担金	⋛∙支持	爰 🗼	業運営方法	<u>+</u> 🗸	1 直営		3	全部委託
	争未应力	O 2 / 1-1	事業		0 4	施設の維持	肯管理	\bigcirc 6	3 内部	管理事務	・その	他	未建占力。		2 一部	委託	4	補助等
		基本構想(政	(策)	3. 美しい	\環境	のまちづくり				実施計	画			-	事業の	開始∙終了	7	
	総合計画	基本計画(施	5策)	(4)廃棄	物処理	里等環境衛生	E対策(の充実	0	1 該当		平	成	年 ~	平成	年	✓ 期	間設定なし
		主要施策	Ę ((1)ごみ!	収集・	処理体制の	充実		O	2 非該当	á	根	拠法令等					
		対象(誰を、 何を)	市指足	定ごみ袋														
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終	的 必要:	量のご	み袋確保はぬ	必須です	- 0										
PL		たいのか)	今年	度 必要:	量のご	み袋を需要に	こ応じて	供給して	ています	0								
AN		具体的にどの	のよう 7	な活動を	行いる	ますか。(主な	なもの5	つまで	<u>.</u>									
N		① 市指定ご	み袋0	の発注と即	構入													
	事業の	② 販売店へ	の販売															
	活動内容	③ 販売への)手数制	料の支払	ر)													
		4																
		5																
		指標	名	計算	式又に	は指標設定理	由 単	单位		平成	23 4	年度	平成	24 年度		平成 25	年度	最終目標
	数値目標	ごみ袋発注	分类			要枚数を把握	星	枚	目標									
	(事業の目的	この一致ルエリ	^ 3	するが	ため			1^	実績		1,0	030,000		1,130,0	000			
	及び活動内	ごみ袋販売	毛 数			にかかわる必	<u>ኦ</u>	д 📙	目標									
	容の達成度 を測る指標)	C 07 42,70,70	J 30.1°	安経:	費を把	握するため		' '	実績		6,2	267,200		6,288,	150			
	で例の相保)	ごみ袋等購え	入代金			入にかかる費	ŧ	д	目標									
			V V M	me:		るため			実績		3,9	961,860	1.4.15	4,160,	625			
	予算費目	会 計			一般会				4 衛生		h-h-		2 清掃		h-h-	目 2	塵芥処	:埋費
			. ^	平成	23	年度決算		· 成	24	年度決		平成	25	年度予			備考	
		国庫支出					千円				千円				千円			
		県 支 出	金				千円				千円				千円			
	直接事業費	地方	債				千円				千円				千円			
DO		その他特定別					千円			10.057	千円				千円			
U		一般財	源			11,245					千円			13,334				
		計(A)	奴弗	0.140	1	11,245		140	1		千円	0.140		13,334				
	人,供弗(D)	正職員工数· 臨時·嘱託職		0.140	人	846 =	TH 0.	.140	^ <u> </u>	835	千円	0.140	人	823	十円			
	八件貝(D)	臨時·嘱託工数·		0.000	1	0 =	rm 0	.000	1	0	千円	0.000	1	0	ıπ.			
	全休事	☆ 「	作具	0.000	<u>ハ</u>		F円 U.	.000	^ <u> </u>	13.092		0.000		14 157				

				エ	ェック項目						を削す			-次評価の	光 四		— / /-	·=亚/莱
		1 -	ナジウザー			一小	ジェクー・ナック	* Worth			次評価							評価
	ν,		主体があり、	事業を廃止	休止して	こも景	が確保できる等 影響は大きくが	ない。		少ない	•	大きい	品なので	なくてはなら 廃止すること	はできな	0	少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、次	年度以降第	を施っ	する緊急性が認	認められない。	0	ない		ある	いし、それ - 要不可欠	ルに代わるも とです。	のもなく必	0	ない	ある
	性						方法等の改善の		0	ある	0	ない		(() (0	ある	● ない
		4.		の低下がみら ビスとなって		丘隣自	自治体と比較し	してニーズを	0	いる	•	いない				0	いる	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	字が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	生活にお常に有効	ける重要度	は高く、非	0	いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	m1C F 2/.	1 () 0		0	いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	こ事務事業がる	存在する。	0	する	•	しない				0	する	● しない
HECK		4.	事業の継続る	をしても成果	の向上が期	明待で	できない。		0	できなし	,	できる				0	できない	● できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて劣	っている		じて需要が、		0	目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上た	バつて	ていないと思う	5 。	0	あまり上	がってい	ない	ばならな	いので目標語			あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	ってし	いると思う。		0	概ね達	成している	3	です。			•	概ね達成	している
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	艾して	ていると思う。	r	0	十分達	成してい	る				0	十分達成	している
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				0	高い	•	適当		はいまの方が、今後にな			高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	制度を	を活用できる。	,	0	できる	•	できない	削減の検	討余地はあ			できる	● できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施・	₣段等	等を見直す余 歩	也がある。	0	ある	•	ない	ます。			0	ある	● ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	などにより	ノコフ	スト削減の余均	也がある。	0	ある	•	ない				•	ある	○ ない
					_	次評	F 価							二次	評価			
	証布	西点	必要性	有効性	達成	芰	効率性	総合評	価		必要性	生 -	有効性	達成度	効率	性	総	合評価
			4	4	3		4	A			4		4	3	3			A
		後の に	○拡大・対		状維持	0	77.	〇 民間委託	计等		-	充実	● 現物		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	• •	〇 民間	引委託等 ———
A	万川	句性	○ 縮小	○ 統合/約	咚期設定	0	廃止/休止				〉 縮小	$\overline{}$	統合/終					
ACT												二次	(評価での	指摘事項為	なび一次評	価と	の相違点	Ī.
T	当回	面の	ごみ袋の需要	要と供給のバラ	シスは崩t	となし	いので、需要を	減らすことが課	題と	なっ								
	課	題	てきます。															
0														直正かつ効率				
N		革案		は、業者選定に	より最安値の	のとこ	ろから購入する	ことになっている	が、原	マンコー	et、広f	告入封筒	「のような戊	5告入ごみ袋	の導入につ	ついて	検討して	下さい。
			高騰により業界	早全体の単価が	上がってしる	まって	いるので、ごみ》	載量化で袋の購	入枚数	数を								
	計	画	減らずか、販売	きき数料の減額	寺でコストダ	ウン	を図るなどの改善	き策は考えられる	ます。									
		員会 i事項																

	No. 8 —	9 基本事務事	業名こ	゛みステー	ーション	/に関する事	務事	務事業	名ごみ	メステーシ	ョンに	関する事	務公的	内関与 2	シー	·卜作成日	平成25	年6月27日
	部局名		市民	部		課名	環	境衛生	課	主務認	果長名		藤川遠	青人	シート	作成者名	兼	中豊久
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3	経常的事務	8事業	O 5	5 補助3	金·負担金	读支持	爱 · 由 由	業運営2	- :+	1 直営	Š	3 3	全部委託
	争未区万	0 2 N-F	事業		• 4	施設の維持		\bigcirc 6) 内部	管理事務	・その・	他	未理呂ノ	7法 🗌	2 一	『委託	□ 4 [†]	補助等
		基本構想(政	(策)	3. 美しい	環境(のまちづくり				実施計	·画				事業の)開始•終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(4)廃棄	勿処理	等環境衛生	±対策(の充実	0	1 該当		平	戓	年 ~	平成	年	✓期間	引設定なし
		主要施策	[(1)ごみ	又集・タ	処理体制の	充実		O	2 非該当	<u> </u>	根	拠法令	·等 阿波	市地域	ゴミステーショ	ン施設整	備事業助成要綱
		対象(誰を、 何を)	ごみス	くテーショ	ン													
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終	的ごみれ	ステーシ	ションの整備を	を行い、	市民の	利便性	を図ります								
PL		たいのか)	今年.	度 ごみス	ステーシ	ションの新設	及び修善	・要望に	こ対し、⋮	要綱に基っ	づき助用	成金を排	出しまし	た。				
A		具体的にどの	ひような	な活動を	行いま	きすか。(主な	なもの5	つまで	•									
N		① ごみステ	ーション	ノの新設	及び修	善に伴う助成	戊申請書	の受付	-									
	事業の	② 現場確認) J															
	活動内容	③ 負担金の	支払し	١														
		4																
		5																
		指標名	名	計算	式又は	指標設定 理	曲	单位		平成	23 4	丰度	平成	24 年度	F	平成 25	年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	ごみステーション	数	必要	数を把持	握するため	筐	前	目標 実績			676			676			
	及び活動内容の達成度	ごみステーション	修善件数	対 必要	数を把持	握するため		件 -	目標実績			8			10			
	を測る指標)	ごみステーション	新設件数	対 必要数	数を把持	 握するため		件	目標			J			10			
	予算費目	会 計			-般会	= ⊥			実績 4 衛生	 - 弗		項	2 清:	旦弗			塵芥処	田弗
	了异貝日	工 引		平成	23	年度決領	と	<u> </u>	4 1利 2	ェ _貝 年度決	笛	平成	2 /用1 25	^{冊頁} 年度予	. 笛	日 2	備考	<u> </u>
		国庫支出	一个	十八	23		好 寸 千円	- 八人	24	十尺人	千円	十八	20	十尺了	好 千円		1 佣	
		県支出	金				千円				千円				千円			
		地方	債				千円				千円				千円			
D	直接事業費	その他特定則					千円				千円				千円			
O		一般財	源			730 =					千円			500				
		計(A)	////			730 =					千円			500				
		正職員工数:	経費	0.100		604 =		.100 /	λ		千円	0.100	人	588				
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		211.00	`				`	- 000		21.00						
	· (1) 52 (2)	臨時·嘱託工数·		0.000	. .	0 =	千円 0	.000 /	Λ	0	千円	0.000	人	0	千円			
	全体事	業費(A+B)			•	1 334 =				829				1 088				

				チェ	ック項目					_	·次評	西			·次評価の	D説	明		二次	評価	б
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	•	大きい			ーションの 上すること			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。		ない	•	ある	1	6 。				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向]上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の	余地がある。	•	ある	С	ない						•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較	してニーズを	0	いる	•) いない						0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	ıı 💿	いえる			充分ある			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	を策への 貢献	献度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い	いえる			性がありる			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	字在する。	0	する	•	しない						0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の	D向上が期	待で	きない。		0	できな	ι	できる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣っている			して発生で			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	5 。	0	あまり_	上がってI	いない		C (11 1)	XX_10 C C	. 0		0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	N _o				0	高い	•	適当			のみに限 、これ以上			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。		•	できる	С	できな		困難です		/\	1 11/1/2/10	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	•	ある	С	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余均	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						欠評										次評					
	評值	点面	必要性	有効性 4	達成度	Ę		総合評	' 価		<u>必要</u> 3		有	<u>効性</u> 4	達成 3	麦	<u> </u>	生	総	合評 A	·価
	今往	後の		•		•	<u></u> 方法改善	○ 民間委託	托等	(大 · 充	丰	<u>▼</u> ③ 現状		0	<u></u>	唐	○ 民間		 托等
Α	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	0	廃止/休止)縮	_	_	統合/終			廃止/休			_	
ACT			この助成を知ら	こさいしょせんく	さんハスト	うたく	りで 広報かり	で古足に国知	ゖ゚ゟ	_ω			-次評	平価での	指摘事項	及で	<u> 「一次評</u>	価と	の相違点	į	
10		題	がベストだと思 くなるという課	うが、予算が	かなり少な					れな フ	くテーシ ごす。	/ョン方:	式に。	よる家庭	ごみの収録	集方法	法は、市民	見に気	官着してお	り有	効な手段
N		革案 実行 画	課題に書いたよう かった助成内容に で、手数料などそ いかなければなり	:ついて検討する! の他にかかる費月	必要がありまっ	す。現	在の助成は原材	料費のみに限られ	ている	5の 置		ノヨン修ん 要です。		原材料費	さいて かんしょう	は、=	ニーズを排	型握し 	、年次計	画的	な予算措
		会 事項																			

	No. 8 —	10 基本事務事	業名 資	源ごみ収算	集事務	事務事業	業名 資	源ごみ収集事	務	公的関	与 3 シ	ノート作成日	平成25年	年6月28日
	部局名		市民部	3	課名	環境衛生		主務課長		藤川靖人		ート作成者名	神	·月顕仁
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	•	3 経常的事務事			金•負担金•叏		業運営方法	_	直営	3 组	è部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他	未连舌刀刀	2 -	一部委託	4 補	甫助等
					竟のまちづくり			実施計画				僕の開始・終了		
	総合計画				l理等環境衛生対)1 該当			•			設定なし
		主要施策	(1)ごみ収集	・処理体制の充	実	<u> </u>	2 非該当	村	视法令等	阿波市序	廃棄物の処理及	び清掃に	:関する条例
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		リデュース: 発生排 資源ごみを有効利						ごみの軽量	量化とごみを出さ	ない生活	様式を確立
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	のような	活動を行し	ヽますか。(主なも	の5つま [.]	で)							
N		 資源ごみ 	(缶・ビン	ハペットボト	・ル)の収集運搬を	阿波·市場	は直営で	で行い、吉野・コ	上成は委託	業者により	行います。			
	事業の	② 資源ごみ	√新聞•常	推誌・段ボー	-ル・牛乳パック)に	な各4地区で	で月1回	拠点回収を行い	います。					
	活動内容	3												
		4												
		5	_	1										
		指標名	名	計算式又	(は指標設定理由	単位		平成 23	年度	平成 2	4 年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標	資源ごみ収算	集量			t	目標		700		700			
	(事業の目的	次にデュルログ	* * *				実績		786		786			
		資源ごみ収算 業者	未安託			社	目標 実績		8		8			
	を測る指標)	未日				-	天 棋 目標		8		8	3		
							実績					<u> </u>		
	予算費目	会 計		一般	수 計	款	4 衛:	 牛費	項	2 清掃	.	目 2	鹿芥伽I	選費
	7 # 2 1	A 11	2	P成 2		平成	24	年度決算	平成		、 年度予算		備考	
		国庫支出			千円			千円			千円	1	,,,,, C	
					千円	-		千円			千円	-		
	古拉市来弗	地方	債		千円	I		千円			千円	ī		
D	直接事業費	その他特定則	財源		千円]		千円			千円	ī		
0		一 般 財	源		5,987 千円	l		5,987 千円			9,462 千円	Ī		
		計(A)			<mark>5,987</mark> 千円	l		<mark>5,987</mark> 千円			<mark>9,462</mark> 千円	ı		
		正職員工数·		.500 人	3,022 千円	0.500	人	2,981 千円	0.500	人	<mark>2,941</mark> 千円			
		臨時·嘱託聯												
		臨時·嘱託工数·	·経費 0	.000 人	0		人	0 千円			0 千円			
	全体事業	集費(A+B)			9,009 千円			8.968 千円		1	2.403 千円	11		

				T _							ು ⇔ ಕಪ್ರಶ	_		` ₩===/==	Φ = Υ	no		— ·/-	, = 1. 1. 1. 1.	
					ック項目		S-10 - 1 - 1 - 1	- 11 - - 15			次評個	1	1-1 = b =0	一次評価				二次	語半個	1
		1.		なくても、公 ^ュ 事業を廃止					0	少ない	•	大きい	かでも	環境を考えた 資源ごみ収	集・リ	サイクル	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	丰度以降 集	施克	する緊急性が詞	忍められない。	. 0	ない	•	ある		な役割を占 当然必要で		おり市民		ない	•	ある
	性			向上のために、					•	ある		ない			- , 0		•	ある	0	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		[隣目	自治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	子が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる		らがごみ分で、市民一			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	シネリ化など、カ	施策への貢	献度:	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	サイク	ルに対する	意識(の向上が	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	類似・重複	₹L†	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	図られ	てきており	有 幻(<u>:</u> 9	0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期	待で	できない。		0	できなし	',	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて劣	らっている		R運動を積 こよりごみ量			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果がな	あまり上か	うて	ていないと思う	.	•	あまり上	がってい	ない	保全σ.	ため尚一層	層の啓	発•指導	•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してい	る		ることにより えます。	り成果	が上が	0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	ていると思う。		0	十分達	成してい	る					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	, \ _o				0	高い	•	適当		効率的なご 築し継続的			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	や新たな制	度る	を活用できる。		•	できる	0	できない			,,	本と入が	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	段等	等を見直す余 ♭	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更が	などにより	コフ	スト削減の余地	也がある。	•	ある	0	ない					•	ある	0	ない
					_	次評	価				<u> </u>			=	上次評	評価	•			
	≘ 亚/:	西点	必要性	有効性	達成原	臣	効率性	総合評	陌		必要'	性	有効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
	aT II	川川	3	4	2		2	В			3		4	2		2			В	
		後の	○ 拡大・充			0	方法改善	〇 民間委託	托等			大・充実		見状維持	•	方法改善	-		引委記	£等
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	§期設定	0	廃止/休止)縮/)		終期設定	_	廃止/休				
AC												二	欠評価で	の指摘事	項及	び一次評	価と	の相違点	<u> </u>	
TIO	当課	面の !題	循環型社会研 て広報・啓発	確立のため資源 を行う必要があ	原ごみの分 5ります。	別収	集の必要性に	ついて自治会	等を追		∓⊞ ÆJ Þ	+会の宝	羽に向け	- 、根気よく/	大報。	改みた結ら	+~7	2チ11		
N	と多	革案 実行 ·画		ことらわれず市 ・収集を進める				。、引き続き尚-	一層刻		·宋王T	云の天	<i>-</i> /€1⊂ P] ()	、1以×6 ◆ 、 //	△ + X * '	ロ元で似い	, с і	Cv' ₀		
		員会 j事項																		

	No. 8 —	11 基本事務事	第第名 家原	庭ごみ収集	事務	事	务事業名	名 家庭	ほごみ収集	事務	S J	公的関-	ラ 3 シ	ンート作成日	平成25年	年6月28日
	部局名		市民部		課名	環境	竟衛生詞	果	主務課	長名		藤川靖人	シ	一卜作成者名	神	月顕仁
	事業区分	○ 1 ソフト		•	3 経常的事	務事業	5	補助金	金·負担金	・支援	重	業運営方法	<u> </u>	直営	3 ≦	≧部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維		0 6	内部领	管理事務•	その	他	未连占刀広	2 -	一部委託	4 神	助等
		基本構想(政							実施計	画				業の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施)充実		1 該当		平月		⊑ ~ ম	P成年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(1)ごみ収集	•処理体制の	の充実		O	2 非該当		根	拠法令等	阿波市原	廃棄物の処理及	び清掃に	関する条例
		対象(誰を、 何を)	市民													
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	一廃棄物	(家庭ごみ)の	排出を抑	制すると	ともに	. 廃棄物 <i>0</i> .	適正	な分別・	処理し、生活	環境の保	全及び公衆衛生	きの向上を	と図ります。
PL		たいのか)	今年度	:												
A		具体的にどの	りようなえ	活動を行い	ゝ ますか。(主	なもの5	つまで))								
N		 家庭ごみ 	(可燃ご	み)の収集i	運搬を阿波•⋷	市場は直営	営で行い	、吉野	・土成は委	託業す	者により彳	うう。				
	事業の	② 家庭ごみ						ステーシ	ションで回収	を行	う。					
	活動内容	③ ごみ分別														
)	境保全意	意識の高揚	に努め市民と	:の協働の	もと、不	法投棄	₹の監視・指	導体	制を強化	する。				
		5														
		指標名	<u>名</u>	計算式又	は指標設定	理由	位		平成	23 5	丰度	平成 24	4 年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標	家庭ごみ収算	集量					目標								
	(事業の目的		+					実績			7,550		7,550	0		
		家庭ごみ収算	耒委託			1		目標								
	を測る指標)	業者						実績 目標			3		3	3		
								口 [s 実績								
	予算費目	会 計		一般:	스타			天順 衛生	<u> </u> 上弗		項	2 清掃費	ļ	日 2	塵芥処理	甲费
	了开具口	五 川	ı ı	P成 23		2 首 平	 ·成	24	年度決	首	平成		· F度予算		備考	主具
		国庫支出		190 20	1120	千円	120			在 f用	1 /2		<u> </u>	9	ני מע	
		県支出	金			千円				千円			千円			
		地方	債			千円				千円			千円			
D	直接事業費	その他特定則				千円			=	千円			千円	9		
0		一 般 財	源		65,305	千円			65,305 -	千円		7	1,340 千円	9		
		計(A)			65,305	千円			65,305	千円		7	<mark>1,340</mark> 千円	9		
		正職員工数·	経費 3	.650 人	22,062	千円 3.	650 人		21,758	千円	3.650	人 2	<mark>1,468</mark> 千円	9		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		塵芥	作業員			芥作:	業員			塵芥作業員				
		臨時·嘱託工数·	· 経費 9	.100 人	20,220	千円 9.	100 人		20,220	千円 1	10.100	人 2:	<mark>2,442</mark> 千円	9		
	全体事	業費(A+B)			107 588	千円			107 284	f PI		11!	5 250 千円	9 l		

					ック項目					_	-次評	価		_	·次評価(の説明			二次	:評個	5
		1.	市が実施しなり、主体があり、	くても、公室 事業を廃止	F性・公正 ・休止して	E性だ こも	が確保できる等 影響は大きくな	等、他の実施 ない。	0	少ない	, (大き	きい	各家庭か 般廃棄物	のごみ処	理はす	うの責	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	兄の中、次年	F度以降実	ミ施っ	する緊急性が認	忍められない	. 0	ない	0	ある	5	務であり、	. 必要不可	可欠です	す。	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段	ひ、ブ	法等の改善の	余地がある。	0	ある	C	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの(上回るサービ			Í隣E	自治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	0	いな	ıاټ					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	字が必	がずしも適切とい	はいえない。	0	いえな	い	いえ	La	家庭ごみ 要性を認	分別とごの	み減量	化の必	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネ	トリ化など、カ	を策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	u (いえ	ia	みの減量	化が促進			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施するが	施策の中で舞	頁似・重複	夏しか	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しな	î۱۱	で有効で	9 。			0	する	•	しない
HEC		4.	事業の継続を	しても成果の	D向上が其	月待 つ	できない。		0	できな	v C	でき	f3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる	ステーショび処理方				0	目標に比	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上か	うって	ていないと思う	ō 。	0	あまり」	上がって	いない		果が上が	ってきてし	ハるが、	、今後	0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成して	いる		尚一層の 啓発を図			リけた	•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	 はして	ていると思う。		0	十分達	産成して	いる						0	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	N _o				0	高い	(適当	当	収集運搬 と収集委				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	のノウハウヤ	か新たな制	1度で	を活用できる。		•	できる	C	でき	ない	ているが	現状では	地域の		•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	ず果の関係で	で、実施手	-段等	等を見直す余 均	也がある。	•	ある	C	ない	١	即した最	適な万法	です。		•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約に	方法の変更な	ょどにより	ノコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
						次評	-				•			•		次評価					
	評値	西点	必要性	有効性	達成原	芰	効率性 2	総合言	平価		必要 4		1	可効性	達成/ 3		<u> </u>	生	総	合計	価
	今後	を の		4 钅┃			<u> </u>	○ 民間委	託等	(大·抗	 : :実:	4 ● 現状	<u> </u>		<u></u> 5法改割	Ė		B 引委	迁等
Δ)性	O 4± 1	○ 統合/終		Ŏ	廃止/休止	0 1411124	<u> </u>		<u>○ 縮</u>			統合/終		_	発止/休				
AC													二次	評価での	指摘事项	頁及び	一次評	価と	の相違点	Ī.	
T - 0		面の 題	ステーションには	出すごみは地	地住民の	意識	找付けが必要で	す。		Щ	又集体	制は名	各地域	に定着し [、]	ていますフ	が、適፤	Eな出し	方や済	減量化の	広報	•啓発等
N	اع	革案 実行 画	ごみの適切な出 ます。	∃し方を説明し	ン、住民の	理解	と協力を得る。	ように自治会へ	・働き	0	の推進										2
		員会 i事項																			

	No. 8 —	12 基本事務事	第第名 粗力	大ごみ収算	集事務	事務事為	業名 粗ス	大ごみ収集事	務	公的队		ンート作成日	平成25	年6月28日
	部局名		市民部		課名	環境衛生	主課	主務課長	名	藤川靖,	し	ート作成者名		月顕仁
	事業区分	1 ソフト	事業	•	3 経常的事務事	業	5 補助	金•負担金•支	援	業運営方法	±	直営	3 ≦	è 部委託
	争未区方	O 2 11-1	事業	0	4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	の他	未理呂刀	[™]	一部委託	4 ¥	甫助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環境	境のまちづくり			実施計画			事美	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	5策) (4)	廃棄物処	卫理等環境衛生丸	対策の充実)1 該当	平	成	年 ~ 引	平成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(1))ごみ収集	・処理体制の充	実	<u> </u>)2 非該当	根	!拠法令等	阿波市原	廃棄物の処理及	び清掃に	関する条例
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	一般廃棄 ます。	物(粗大ごみ)の持	非出を抑制	するととも	もに、廃棄物の	適正な分別	刂∙運搬∙処	理し、生活環	環境の保全及び	公衆衛生	の向上を図り
PL		たいのか)	今年度											
AN					いますか。(主なも									
N)			湯・土成は各収集場									
	事業の	② 粗大ごみ	は市場(第一日曜日	3)土成(第二日曜	日)吉野(貿	第一・三金	৳曜日)(第二・Ⅰ	四金曜日)	阿波(第四	日曜日)に名	各指定の場所で	収集作業	を実施
	活動内容)			広報等により啓発:									
)	環境保全意	意識の高揚	に努め市民との協	は働のもと、	不法投棄	乗の監視・指導(体制を強化	する。				
		5												
		指標準	名	計算式又	ては指標設定理由	単位		平成 23	年度	平成	24 年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標	粗大ごみ収算	集量			t	目標							
	(事業の目的						実績		281					
		粗大ごみ収算	集委託			社	目標		0					
	みの達成度 を測る指標)	業者				·	実績		3					
							目標					_		
	予算費目	会 計		前几	会計	款	実績 4 衛生	<u> </u> 上弗	項	2 清掃	弗	目 2	塵芥処理	田弗
	了异貝口	本 引	য		3 年度決算	平成	4 [章] <u>2</u> 24	工具 年度決算	平成	25	_艮 年度予算	1 1 2	備考	生貝
		国庫支出		190, 2	<u>・ </u>		27	<u> </u>	1 19%	20	<u> 干皮 </u>	9	冊つ	
			金					<u> </u>			<u> </u>			
		水 入 出 地 方	債					千円			千円			
D	直接事業費	その他特定				+					千円			
O		一般財			712 壬戌	_		1,036 千円			1,456 千円			
		計(A)			712 千円	3		1,036 千円			1,456 千円			
		正職員工数:	経費 1	.700 人	10,276 ∓₽		人	10,134 千円	1.700	人	9,999 千円	_		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶												
		臨時·嘱託工数·	·経費 0	.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円	9		
	全体事	業費(A+B)			10.988 千円	3		11,170 千円			<mark>11.455</mark> 千円	9		

			チェ、	ック項目				一次	評価		_	·次評価σ	説明		二次	:評価
		1.	市が実施しなくても、公平主体があり、事業を廃止・	性・公正性が			O 少		● 大き	L١	一般廃棄	物処理は	<u> </u>		少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年				な	い	ある		ても市は	適正な処理	を推進に「		ない	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のために、現	見在の手段、方	法等の改善の	余地がある。	<u></u> ත	る	● ない		け積極的あり必要		らべきもので	C) ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ 上回るサービスとなってい		目治体と比較し	レてニーズを	O 11	る	● いない	l,				С	いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、	事業内容が必	がずしも適切とい	はいえない。	O 11	えない	いえる				促進し、生活) いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施	策への貢献度が	が著しく高いと	はいえない。	O 11	えない	● いえる	3	業であり、	ごみを適	Eに収集す	C	いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類	似・重複した	- 事務事業が存	存在する。	ं वृ	る	しなし			ニり良好なイ 図る上でオ	主環境づく! 効です。) [する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の	向上が期待で	ごきない 。		ਂ ਹ	きない	● できる					С	できない	● できる
C		1.	目標設定に対して進捗状況	が劣っている	ると思う。		〇 目	標に比	べて劣ってい				排出量の 、又、適正		目標に比	べて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があ	まり上がって	こいないと思う	5 。	<u></u>	まり上が	うていない		収集運搬	処理に取	狙むことに。	t O	あまり上が	っていない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標	を達成してし	いると思う。		● 概	ね達成	している				:意識高揚ァ]上していま		概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目	標を達成して	こいると思う。		_		している		す。				十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い	0			〇 唐	ī۱۱	● 適当				上と普及に (再利用)意		高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや	新たな制度を	を活用できる。		⊙ で	きる	○ できた	ない	識は高ま	りつつある	が、現状は) できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で	、実施手段等	手を見直す余 均	也がある。	O あ	る	● ない		実現に向	けた成果を	環型社会の が発揮できる) ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	どによりコス	スト削減の余地	也がある。	● あ	る	○ ない		と思われ	ます。		•) ある	○ ない
				一次評	価							二;	欠評価			
	評価	三点	必要性 有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ų	必要性	有	剪 効性	達成度			総	合評価
			4 4 A B A B A B A B A B A B A B A B A B	3	2	<u>B</u>	~ kk		4 +	- I	4 → TB√U	3	<u> </u>			<u>B</u>
		後の 句性	 拡大·充実 ● 現状 縮小 ● 統合/終		方法改善 廃止/休止	〇 民間委託	t寺 ———	0	拡大·充 縮小		○ 現状 統合/終	維持	 方法♂ 廃止/			『委託等
A	יו ני	기도		財政化 〇	廃业/ 								○ 廃止/ 及び一次	• •	の知為と	•
ACT-0	当課		資源循環型社会構築に向け、 の減量化・資源化をすすめる			般廃棄物(粗ス	大ごみ)	減量		•						こってください。
Ň	وع	革案 実行 画	今後、適正・効率的なごみ収 す。	集運搬処理体	制を構築し継続	続的に事業を写	実施しま	また	:、高齢者†					(6))	0. 7 0 1XE1	
		員会 事項														

	No. 8 —	13 基本事務事	業名 廃	家電リサイ	イクル処理事				家電リサイク	フル処	L理事務	公的関与	3 シ	ノート作成日	平成25	年6月28日
	部局名		市民部	3	課名	Ħ	環境衛生	主課	主務課	長名	直	[川靖人	シ-	一ト作成者名	神	·月顕仁
	事業区分	○ 1 ソフト?	事業	•	3 経常的事	務事業		5 補助	金·負担金·	·支援	車 樂 』	運営方法	✓ 1 [直営	□ 3 ≦	è部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維	持管理		6 内部	管理事務•-	その他	サモル	生舌刀压	2 -	一部委託	□ 4 ∤	甫助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環	境のまちづく	Ŋ			実施計画	<u> </u>			事業	≹の開始∙終了	•	
	総合計画	基本計画(施	策) (4)廃棄物処	<mark></mark>	5生対策	での充実		1 該当		平成	年	~ 平	F成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(1)ごみ収集	€• 処理体制(の充実		<u> </u>	2 非該当		根拠	法令等	家電リサ	トイクル法		
		対象(誰を、 何を)	廃家電4	4品目												
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市民からは看板を	搬入されるも 立てるなどの	のは仕た 防止手に	方ないが 段をとっ	、不法技 てできる	と棄の分につ だけ処理数を	いてに を減ら	は、従来ど していきま	おり広報誌 す。	やCATV	/などで周知した	:り、多発し	してる場所に
PL		たいのか)	今年度	市民からるなどの	搬入されるも 防止手段をと	のは仕た ってでき	方ないが るだけぬ	、不法找 処理数を	と棄の分につ 減らしていけ	いてに	は広報誌や 実施してい	CATVなど ゝます。	で周知し	ったり、多発して	る場所に	は看板を立て
A		具体的にどの	りような	活動を行り	いますか。(ヨ	Eなもの	5つま	で)								
N		① 処理方法														
	事業の	② 住民から	持ち込ま	れる分に	対する受取											
	活動内容	③ 不法投棄	分のリナ	ナイクル券の	の購入											
		④ 搬入前に	各家電	こシールを	貼って分類す	る。										
		⑤ 各処理施	設への	般入												
		指標名	各	計算式	又は指標設定	理由	単位		平成 2	23 年	度	平成 24	年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標	不法投棄処理	に伴うリ	不注讼者	集件数を図るた	- th	枚	目標								
	(事業の目的	サイクル券購	入枚数	11/4123	ミT奴で囚る/、	_0,	12	実績			19		62	2		
	及び活動内							目標								
	容の達成度 を測る指標)							実績								
	で測る拍標)							目標								
								実績								
	予算費目	会 計			会計	1	款	4 衛生				清掃費		目 2	塵芥処:	埋費
				平成 2	23 年度》		平成	24	年度決算		平成	25 年	度予算		備考	
		国庫支出				千円				-円			千円			
		県 支 出	金			千円				円			千円			
	直接事業費	地方	債			千円				-円			千円	_		
DO		その他特定則				千円				-円			千円			
U		一般財	源			千円				円			269 千円			
		計(A)	(又弗 ○	100		千円	0.100			·円 (0.100		269 千円	_		
	し供書(ロ)	正職員工数·抗臨時·嘱託職).160 人	967	千円	0.160	人 <u> </u>	954 T	-H (0.160 人		<mark>941</mark> 千円			
		臨時·嘱託工数·).000 人		千円	0.000	1	0 1	· m /	0.000 人		0 千円	_		
		上 ^{晒吁・嘱託工数・} 業費(Δ+B)	性貝 U	,. 000		千円	0.000	<u> </u>	1 067 =		0.000 人	1	0 千円 210 壬円			

				チェ	ツク項目					_	次評	西	_	-次評価の	の説り	明		二次	評価	i
		1.	市が実施しな主体があり、	くても、公 ^工 事業を廃止・	F性・公正 ・休止して	性か も景	「確保できる等 ジ響は大きくな	等、他の実施 ない。	0	少ない	•	大きい	です。今日	型理として、 後市民にタ	い理!	こ対して		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が記	忍められない。		ない	•	ある	の意識向 です。	可上のため	、広	報が必要	\bigcirc	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	三上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	C 9 °				•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	•	いない					0	เงอ	•	いない
		1.	施策の目的を実	ミ現するために	、事業内容	が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	ı, o	いえる		らでの重要 に有効です		高いの	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	施策への貢献	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	ı, o	いえる		11771 - 7	, 0		0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で数	預似・重複	した	- 事務事業が存	字在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待て	ごきない。		0	できな	γ,	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて会	劣っている		Eする廃棄 目標設定は			0	目標に比	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上が	うて	いないと思う	ō 。	0	あまり」	_がってし	いない				5 L 70 °	0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し	てじ	いると思う。		•	概ね達	成してに	いる					•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	して	こいると思う。		0	十分達	成して	いる					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	, \ _o				•	高い	0	適当		こしての部分を搬出する			•	高い	0	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない	業や積み	,込みや処	理施	設への	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	₹を見直す余₺	也がある。	0	ある	•	ない		により、人 になります		カノハよか	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約]方法の変更な	ょどにより	コス	く ト削減の余り	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
			N 777 141			欠評			- /		<u> </u>				次評	•		t n	<u> </u>	
	評值	五点	必要性	有効性	達成度	Ź	効率性 3	総合評			<u>必要</u> 3		有効性 4	達成月	艾	<u> </u>	生	総	合評 A	·価
	今往	後の	○ 拡大·充	•		0	方法改善	〇 民間委託	托等	(大・充実		犬維持	•	方法改善	善	〇 民間		〔
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	0	廃止/休止) 縮)	廃止/休			_	
ACT					- 10. 1 1 1								次評価での)指摘事項	夏及(ゾー次評	価と	の相違点	į.	
10		題	不法投棄分の です。	廃家電をでき	るだけ少な	くす	ること、及び処	:埋万法の広報	が誅	戊			別が図られ					るが、今後	とにお	いても不
N	と多	草案 実行 画	不法投棄分が に不法投棄防)で、少しでも源	或らすことがで	きるよ		□ []	の正のた	めに、広報	合発を継続	元し (.く/こ さい 。				
		曼会 事項																		

	No. 8 —	14 基本事務事	業名	化槽設置	整備事業				<mark></mark> 上槽設置整備	事業		公的関与	3 >	ノート作成日	平成25年	F6月28日
	部局名		市民剖	·ß	課名	環	境衛生記	果	主務課長	名	藤	川靖人	シ	ート作成者名	伊	月堅治
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事	務事業	• 5	補助金	金・負担金・ラ	支援	車業涯	営方法	-	直営	□ 3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維		6	内部	管理事務∙そ	の他	尹未廷	苦刀压	2 -	一部委託	✓ 4 補	助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環境	境のまちづく	IJ			実施計画				事業	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						O	1 該当		平成	22 年	~ ∓	<mark>P成 26 年</mark>	期間	設定なし
		主要施策	(2	2)下水道事	事業の計画的	推進		0	2 非該当		根拠》	去令等	阿波市湾	争化槽設置整備	事業補助	金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	農業集	落排水事業	実施区域及び	「下水道	認可区域	以外σ)市内全域							
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	農業集落排水によ	排水道事業実 る公共用水域	ミ施区域。 の水質:	及び下水 5濁を防ュ	道認可 上し、環	「区域以外には 環境にやさしい	おいて、 まちづく	既存単独 しゅうしん しゅうしん しんしん かいしん かんしん かんしん しんしん しんしん しんしん しん	虫槽及び源 旨します。	及み取り村	槽をすべて合併:	浄化槽に	転換し、生活
PL		たいのか)	今年度	申請に基	づき予算の範	囲内で執	れ行します	一。(下:	水道認可区域	につい	ては市覧	실独事業で	行ってい	い ます。)		
AN		具体的にどの														
N)			区域及び終末											
	事業の)			中に単独槽撤	女去、汲み	▶取り槽摘	技、消	化槽本体及7	び埋設の	D現地確	認				
	活動内容	③ 実績報告														
		④ 補助金交	付額確	定通知に基	づき、交付請	求により	補助金の	交付								
		指標名	<u> </u>	計算式又	スは指標設定	理由	単位		平成 23			平成 24		平成 25		最終目標
	数値目標	净化槽設置数	Ţ	予定設置	计件数			目標			43		143		143	
	(事業の目的							実績			85		110)		
	及び活動内 容の達成度							目標								
	を測る指標)							実績								
								目標								
	予算費目	会 計			:会計			天祖 1 衛生	 - 弗		項 2	清掃費		H 2	海ル 埔東	を を 備事業費
	了并具口	云 미	3	,	3 年度決	1 省 3	平成	24	年度決算	平原			度予算		備考	E佣尹木貝
		国庫支出		1 /50 2	7,082		1 /2		7,314 千円		~ <u> </u>		282 千円	1	10m 13	
		県支出	金		3,940				4,519 ∓ ⊬				093 千円			
		水 	債		3,5 15	千円							千円			
D	直接事業費	その他特定則				千円				-			千円	_		
O		一般財	源		10,357				27,936	-		27,				
		計(A)			21,379				39,769 ∓⊬			•	<mark>666</mark> 千円	_		
		正職員工数:	経費 1	1.000 人	6,044	千円 1	.000 人		5,961 千 ℙ	1.00	00 人		382 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職	战種													
		臨時·嘱託工数·	経費 (0.000 人	0	千円 ().000 人		0	0.00	00 人		0 千円	3		
	全体事	業費(A+B)			27 423	千円			45 730 ∓ □	9		46	5 48			

			5	チェック項目				一次	(評価		_	-次評価の記	钥	二	欠評価
		1.	市が実施しなくても、会主体があり、事業を廃り	公平性・公正性			O 1		● 大き	٠L١	環境の保	全と快適な 濁の防止は	環境づくり	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、	欠年度以降実施	画する緊急性が記	認められない。	O to	il)	ある		欠な事業	です。		○ ない	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のために	、現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	○ <i>t</i> .	る	● ない		1			🔾 ಹತ	ない
		4.	住民ニーズの低下がみ 上回るサービスとなっ		韓自治体と比較!	してニーズを) ı	る	いな	い				○ เงื	いない
		1.	施策の目的を実現するため	に、事業内容が	「必ずしも適切と	はいえない。) l	えない	● いえ	る		の排水改善 して、水質汚		○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など	、施策への貢献	度が著しく高いと	はいえない。) l	えない	● いえ	る	には既存	の単独浄化	曹と汲み	○ いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で	で類似・重複し	た事務事業が不	存在する。	ं वृ	·る	しな	い		合併浄化槽に 善を図ること		する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成り	果の向上が期待	きできない。		0 7	きない	● でき	<u>გ</u>	す。			○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗	犬況が劣ってし	いると思う。		O B	標に比	べて劣ってし	る		が構の設置はいないので転		○ 目標によ	とべて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果が	があまり上がっ	ていないと思う	う 。	O あ	まり上か	「っていない		に努力し			● あまり上:	がっていない
	度	3.	目標設定に対して概ね	目標を達成して	いると思う。		● 概	ね達成	している					○ 概ね達成	艾している
		4.	目標設定に対して十分に	こ目標を達成し	ていると思う。)	0 +	·分達成	している					○ 十分達月	成している
		1.	効果に比べてコストが	高い。				ξίν	● 適当	á		、等と比較して いし、効率性		○ 高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハワ	りや新たな制度	を活用できる 。)	0 7	きる	● でき	ない	高いです		OFFIC	○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係	系で、実施手段	と等を見直す余均	也がある。	○ <i>t</i> .	る	● ない					🔾 ಹತ	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更	更などによりコ	1スト削減の余均	也がある。	○ <i>t</i> .	る	● ない					🔾 ಹಕ	● ない
				一次	評価				•			二次	评価		
	評値	五点	必要性 有効性	達成度	効率性	総合評	価	Į.	必要性	1	与 効性	達成度	効率(性	総合評価
	△ 2	を の	44 ○ 拡大·充実 ● ឆ	 3 見状維持 【(_ 4 〕方法改善	A ○ 民間委詞	千生		4 拡大∙充	宝	4 ● 現状	 2 ₹維持 【○	_ 4 □ 方法改	並	<u>A</u> 間委託等
		句性) 廃止/休止	Chigh	10 47	0	縮小		統合/終	_			田女化寺
C	-		既存の単独処理浄化槽		3	と嫌への転換を	きまして	_		_				価との相違	点
ACT-0		題	に行い合併処理浄化槽の 公共水域等の放流先が しながら進めていきます。	普及率を50%	以上を目指します	ŧ.		本市						。水質汚濁阞	5止の観点から
N	آغ 計	草案 実行 画	広報誌及びホームページ 放流先の確認を建設課と					有交	かな事業で	ぎす。ノ	広報啓発 を	を行って下さ	١.		
		員会 事項													

	No. 8 —	15 基本事務事	業名 公害	害∙苦情∙╭	不法投棄等事	務事	務事業名	3 公津	髺∙苦情∙不法	投棄等	事務	公的関与	3	シート作成	5日 5	平成25年	56月28日
	部局名		市民部		課名	環	境衛生認	₹	主務課長	:名	藤	川靖人	111	ンート作成	者名	材	英司
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的事	務事業	5	補助釒	金・負担金・支	え援	中希语	営方法	∠ 1	直営		3全	:部委託
	争未区方	O 2 11-15	事業	0	4 施設の維持	持管理	0 6	内部管	管理事務・その	の他	尹未连	呂刀法	2	一部委託		4 補	i助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環境	境のまちづく	J			実施計画				事	業の開始	•終了		
	総合計画	基本計画(施	<mark>.策)</mark> (1))環境の例	保全と創造 しゅうしん			0	1 該当		平成	年	~	平成	年	✓ <mark>期間</mark>	設定なし
		主要施策	(3))公害等璟	環境問題への	適切なる	讨応	0	2 非該当		根拠》	去令等					
		対象(誰を、 何を)	雑草等0	の苦情及び	ごみの不法投	:棄											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	会社(企業	業)及び市民に	広報等に	こよる啓発	Ě活動 [:]	を行い苦情が	でない。	ように環	境保全に	努めます	す。			
P		たいのか)	今年度	関係機関	と連携して、介	≧業及びī	市民に広	報等に	よる啓発活動	を行い	ます。						
AN		具体的にどの				なもの	5つまで)										
N		① 市民から			在認												
	事業の	② 各関係機	関に連絡	各													
	活動内容	③ 雑草につ	いては所	有者に通:	知												
		4															
		5															
		指標名	各	計算式ス	スは指標設定:	理由	单位		平成 23	年度		平成 24	年度	平成	. 25 ^全		最終目標
	数値目標	苦情及び相談件	≸ ⁄ī	申立件数	ī			目標								60	
	(事業の目的			1 - 11 %	`		3	実績			75		(68			
	及び活動内							目標									
	容の達成度を測る指標)							実績									
	ではいの日本							目標									
	2 佐井口	A =11		60	A = I			実績				/	ᆫᆂ			四144-1	#
	予算費目	会 計	ित		会計			衛生			項 1	保健衛生		1 目	5 J	環境衛生 供表	_
		园庄士山		² 成 2	3 年度決		P成	24	年度決算	平月	ζ 2	!5 年	度予算			備考	
		国庫支出県支出	金			千円			<u>千円</u> 千円					·円 ·円			
		<u>宗 又 山</u> 地 方				千円			<u> </u>	+			<u>+</u> 千				
D	直接事業費	地 力 その他特定則				千円								·Ħ			
0		一般財	源			千円								·Ħ			
		計(A)	//示		0	千円			0 千円				0 +				
		正職員工数:	経費 0	.800 人			.700 人		4,173 千円		00 人	4	0 · 117 ∓				
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		.550 /(1,000		.,,,,,		1,170	0.70		Т,	,				
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0	千円 0	.000 人		0 千円	0.00	0 人		0 ∓	· 円			
		業費(A+B)			4 836		/\		4 173 壬四			4	117 千				

				チ-	ェック項目					_	一次言	平価		_	·次評価 <i>0</i>)説E	明		二次	'評侃	Б
		1.	市が実施した	よくても、公	平性・公正		「確保できる。」 「響は大きく		i O			● 大き	۴L۱		を守るのに	,		0	少ない		" 大きい
	必	2.	厳しい財政制						. 0	ない		ある		1				0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の同	向上のために、	現在の手段	设、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある		● ない	١	1				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーb	D低下がみら ごスとなって		「隣自	治体と比較	してニーズを	0	いる		● いな	ili					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を調	実現するために	二、事業内容	₹が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえた	はい	いえ	.る		投棄及び			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	•	いえた	はい	○ いえ	.る		たない状況			•	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	更した	上事務事業がる	存在する。	0	する		しな	١١					0	する	•	しない
HECX		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が期	得て	ごきない。		0	できた	ぼい	● でき	·る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	らと思う。		0	目標(に比べ	て劣ってし	いる		法投棄・執ています。)苦情等	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果が	あまり上か	うて	いないと思う	う。	•	あまり	上がっ	ていない		カカロ	(6.43)			•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		0	概ねi	達成し	ている						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。)	0	十分	達成し	ている						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	ر۱ _°				0	高い		適当	¥	通報によ効率が悪	り現場確認	忍をす	るので	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	と活用できる。)	•	できる	3	○ でき	ない	797-70 76				•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	: 成果の関係	で、実施手	段等	₹を見直す余 ^は	地がある。	•	ある		○ ない	١					•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	リコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある		● ない	١					0	ある	•	ない
						次評	-									次評					
	評値	西点	必要性	有効性	達成原	芝	効率性	総合			必	要性	1	有効性	達成原	Į	効率	生	総	合評	· 価
	△ 2	を の		宝宝 ② 租!	<u> </u>		2 方法改善	B ○ 民間委			\bigcirc ‡	<u>4</u> 広大・充	<u> </u> 字	3 ● 現状	2 }維蛙	\bigcirc	<u>2</u> 方法改氰	É		B 引表:	 托等
		句性	○ 縮小		以期設定	_	廃止/休止	○ 以间安	10.4	_		宿小		統合/終			廃止/休		O KIF	11321	L 47
A	/31	,,,	ं गंगव ग				光 亚/				<u> </u>)		指摘事項				の相違点	į	
ACT-O	当課	面の !題	行政関係機関 ます。なお、休	関及び市民から 休日等の対応が	の通報等 が必要です	により。	り現地確認を行	テい、早急な対	対応に	ļ					高めるため						ーーー
N	と 計	革案 実行 ·画					強化及び市民 実に努めます。		保全口	こ対	さい。										
		員会 事項																			

	No. 8 —	16 基本事務事	業名 公害	害(騒音•振	動·悪臭)一般事務	事務事業	美名 特定	ዸ建設作業∙特定	施設届出	事務 公的	内関与 1 シ	ノート作成日	平成25年	丰6月26日
	部局名		市民部	3	課名	環境衛生		主務課長		藤川靖	人 シ	ート作成者名	古	谷昌寛
	事業区分	1 ソフト	事業	0	3 経常的事務事	業	5 補助:	金・負担金・支	援	業運営ス	_{左注}	直営	3 全	≧部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 サ	未连占人	2 -	一部委託	4 神	助等
					境のまちづくり			実施計画				僕の開始∙終了		
	総合計画	基本計画(施					0	AF :		成	•			設定なし
		主要施策	(3)公害等環	環境問題への適切	刀な対応	0	2 非該当	柜	拠法令	·等 騒音·振動	規制法、大気汚染防	5止法、県生	活環境保全条例
		対象(誰を、 何を)	事業所	等からの各	種届出の受理及び	薬経調整								
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	徳島県生	活環境保全条例等	等の関係法	令に基づ	づき阿波市の環	境保全に	努めます	•			
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	りような	活動を行し	いますか。(主なも	の5つまで	で)							
N		① 事業所か	らの各種	重届けの受	付									
	事業の	② 関係機関	への連絡	絡調整										
	活動内容	③ 地元から	苦情が出	出れば事業	所への調査・指導									
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又	ては指標設定理由	単位	_	平成 23	年度	平成	24 年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標	届出件数				件	目標							
	(事業の目的						実績		16					
	及び活動内 容の達成度						目標							
	を測る指標)			+			実績 目標							
	予算費目	会 計			会計	款	4 衛生	┃ 上	項	2 清:	温 書	目 1	清掃総新	冬 费
	丁开具口	ДП	3	平成 2		平成	24	年度決算	平成	25	年度予算		備考	7. 反
		国庫支出		1 /20 _	<u> </u>			<u> </u>	1 724		<u> </u>	1	, cut	
		県 支 出	金		千円			千円			千円	-		
		地方	債		千円			千円			千円			
D	直接事業費	その他特定則			千円			千円			千円	-		
0		一 般 財	源		615 千円			615 千円			615 千円	ī		
		計(A)			615 千円			615 千円			<mark>615</mark> 千円	ī		
		正職員工数·	経費 0).100 人	604 千円	0.100	人	596 千円	0.100	人	588 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯	 遺種											
		臨時·嘱託工数·	· 経費 0).000 人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円			
	全体事業	集費(A+B)			1,219 壬円			1,211 千円			1,203 千円	1		

					エェぃ	ク項目					_	-次評	価		_	-次評価 <i>σ</i>	/ ≣出 BE	1		二次	* 言示 右	F
		1	市が宝施した				一性カ	が確保できる等	年 他の実施							心なまちつ			(
		· ·						影響は大きくな		0	少なし	',	大き	い	然環境を	守るため必	グ要な	事業で	\bigcirc	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政料	伏況の中、	次年	度以降実	€施す	トる緊急性が記	忍められない。	. 0	ない		ある		す。				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のため	こ、瑪	在の手段	设、 方	法等の改善の	余地がある。	0	ある		ない	١					•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				Í隣 É	自治体と比較し	ンてニーズを	0	いる	C	いな	:١١					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	めに、	事業内容	字が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえな	il (いえ	る		が豊になり			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化なと	:、施:	策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	il (いえ	.る	そ、施設	の把握、近	隣住	民との	0	いえない	•	いえる
C	姓	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	夏した	と事務事業が存	字在する。	0	する		しない	い	トラフルド	方止のため	有効	です。	0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続る	をしても成	果の	向上が期	月待て	ごきない。		0	できな	:11	でき	る					0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	こいる	ると思う。		0	目標は	こ比べて	'劣ってし'	いる		らの届出し できません		ため目	0	目標に比ん	べて生	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上か	べって	こいないと思う	5 。	0	あまり.	上がって	いない		惊政化Id	(CS 2 E /	J _o		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てし	いると思う。		•	概ね遺	産成して	いる						•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成		こいると思う。		0	十分证	達成して	いる						0	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い。	o				0	高い		適当	á	届出によ効率は悪	り現場確認	を行	うため	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	刂度を	た活用できる。		0	できる		でき	ない	が干しる心	.0.090			0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果の関	係で、	、実施手	段等	ệを見直す余 ♭	也がある。	0	ある	(ない	1					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変	更な	どにより	ノコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	(ない	١					0	ある	•	ない
						-	次評	価							•	二》	欠評值	—				
	評値	五点	必要性	有効性	Ė	達成原	芰	効率性	総合評	陌		必要		1	与効性	達成度	E./	効率性	生	総	合評	価
			3 -> +t-+ +	4	TEI VILLY	<u>3</u>		4 士::: 小羊	A D B B ₹	-		<u> </u>	<u>}</u> 汏·充			3		4 _ 方法改善	É		A B S :	7 M
		後の 句性	○ 拡大・充		現状	雅特 明設定		方法改善 廃止/休止	〇 民間委	江寺			<u>八 · 元</u> 小	<u>天</u> ()	● 現物 統合/終	4-1 E 3 3		万法以表 発止/休			リ安に	江守 一
ACT	יו נכ	-) IX	○ 州日小,		/ 祁文共	的政化		完工/ 怀工				○ ME	_)		新設是 指摘事項				の相違と	_	
C	坐⋴	面の									-		•	<u>一久</u>		门门间于久	(XU	八町	ЩС	八旧连东	ii.	
i		題	届出書の内容	容について活	去律σ)遵守確	認に	手間を必要とし	<i>、</i> ます。													
0		Ĺ										- ** =c	4.50	. —	+中の宮	* + ** ++ 1-	_	` `	. Hr. 144	1-774-	. — _	
N	改革	丰案										事業所	からの)届出	内容の番	査を厳格に	二行しい	、適止な	话得	に努めて	. 12	ر۱°
		【行	関係機関と連	重携して簡素	化を	検討しま	す。															
	計	画																				
		員会 事項																				

	No. 8 —	17 基本事務事	業名 公	害(水質汚	濁)一般事務	事務事為	業名 特定	定施設設置届出	に関する	事務 公的関与	1 シ	一卜作成日	平成25	年6月26日
	部局名		市民部	3	課名	環境衛生	主課	主務課長	名	藤川靖人	シー		古	谷昌寛
	事業区分	1 ソフト	事業	•	3 経常的事務事	業	5 補助	金·負担金·支	援 📗 🕳	業運営方法	✓ 1 値	営	3 ≦	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持管	管理 〇	6 内部	管理事務・その	か他 か他	未理呂刀広	2 -	-部委託	4 4	甫助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環境	境のまちづくり			実施計画			事業	の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策) (1)環境の例	保全と創造		C)1 該当	平	成 年	- 平	成年	✓ 期間	間設定なし
		主要施策	(3)公害等環	環境問題への適切	刃な対応	C	2 非該当	根	拠法令等	水質汚濁	防止法		
		対象(誰を、 何を)	事業所	等からの各	種届出経由事務及	及び連絡調	整							
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的] 水質汚濁	防止法及び関係	法令を遵守	し阿波市	「の環境保全に	努めます。					
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	りような	活動を行い	いますか。(主なŦ	もの5つま	で)							
N		① 経由事務	〔事業所	f~阿波市	~県(保健所)]									
	事業の	② 関係機関	への連絡	絡調整										
	活動内容	3												
		4												
		(5)												
		指標名	各	計算式又	ては指標設定理由	単位		平成 23	年度	平成 24	4 年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標	届出件数				件	目標							
	(事業の目的	шшпж				''	実績		9		15			
	及び活動内						目標							
	容の達成度 を測る指標)						実績							
	では1の1日1本/						目標							
	3 65 # 5	A =11		<u> </u>	A = 1	+1	実績	/ **		- 1.+1= +			>± 13 60 3	75 #B
	予算費目	会 計	l .		会計	款	4 衛生		項	2 清掃費		目 1	清掃総	務 實
				平成 2		平成	24	年度決算	平成	25 左	F度予算		備考	
		国庫支出			千円	_		千円			千円			
		県 支 出	金		千円	-		千円			千円			
D	直接事業費	地 方 その他特定原	債		千円	_		千円			千円			
0			源源		<u>千</u> Р	_		<u>千円</u> 千円			<u>千円</u> 千円			
		一 般 財 計(A)	//尔		0 千P			0 千円			<u> </u>			
		正職員工数:	経費 ∩).100 人	604 ∓P		, I	596 千円	0.100	J.	588 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		7.100 人	- 	0.100	八	790 TH	0.100	<u> </u>	000 1.13			
		臨時·嘱託工数·).000 人	0	0.000	7	0 千円	0.000	λ	0 千円			
		業費(A+B)			604 1 ₽			596 千円		^	588 千円			

				チュ	⊏ック項目					_	-次評	価		_	-次評価	の説	明		二次	評値	5
		1.	市が実施しな主体があり、				が確保できる等 影響は大きくな		•	少ない	, (大	きい	部を市に	き、届出を こいただけ	れば	事業とし	•	少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	年度以降写	を しゅうしゅう とうしゅう とうしゅう こうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	する緊急性が調	忍められない。	•	ない		あ?	る	ての必要	性は少な	いで	す。	•	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の向]上のために、	現在の手具	没、ブ	方法等の改善の:	余地がある。	0	ある	0	な	い					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			丘隣目	自治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	C) (v	ない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	字が必	ひずしも適切と!	はいえない。	0	いえな	ı, C) (v	える	施設の批	巴握上有 效	うです	0	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い) lv:	える					0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	复し#	た事務事業が存	存在する。	0	する	C	しか	ない					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	明待了	できない。		0	できな	い) で	きる					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	ている	ると思う。		0	目標に	比べて	劣って	いる		いらの届出 はできませ		るため目	0	目標に比	べて針	らっている
	達成	2.	目標設定に対	して成果が	あまり上た	バつつ	ていないと思う	ō 。	0	あまり_	上がって	いなし	١	示以たに		70°		0	あまり上が	ってし	ない
	度	3.	目標設定に対	して概ね目れ	票を達成し	してし	ハると思う。		•	概ね達	成して	いる						•	概ね達成	してし	る
		4.	目標設定に対	して十分に	目標を達成	戈し つ	ていると思う。		0	十分達	産成して	いる						0	十分達成	してに	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	ر. ا				0	高い	(適	当	経由する	だけの事 届出する			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	削度る	を活用できる。		0	できる	() で	きない	良い。	шшуб	14 7/1	·XJ +- 71·	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施・	手段等	等を見直す余均	也がある。	0	ある	()な	い					0	ある	•	ない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。							0	ある	0	かな	い					0	ある	•	ない
						次評										-次評	-				
	評化	西点	必要性	有効性 4	達成/	变	効率性	総合評	′価		必要	性	1	<mark>与効性</mark> 4	<u>達成</u>	度	<u> </u>	生	総	合言 C	平価
	今往	を の		<u> </u>	<u> </u>	•	* 方法改善	○ 民間委託	モ等	(<u>_</u> ○ 拡	大•	_ <u></u> 充実	-	<u> </u>	0	方法改	<u></u>	〇 民間		託等
Δ		句性	○ 縮小		以期設定	O	廃止/休止				○ 縮		0	統合/終			廃止/休				
AC													二次	評価での)指摘事	項及7	ゾー次評	価と	の相違点	ā	
TIO		画の 題	県への経由と に向けて方法。	るため、簡素化	·省2	カ化															
Ö	n/r	· KZ	1-117 (7372)	ж <u>а</u> спу с ,	_ 10 — ш • 2	HALVE	3 () (P	目/で 1 総	見しん	の画数	をし、適コ	- +>+ヒ:首 -	- 女又 - 小	アトナい				
N		本案								Ι϶	対 か	判と	の調金	でし、週日	こる拍号い	-分()	Chan	0			
		€行 ·画	関係機関と連	携して事務の	簡素化を植	負討し	」ます。														
	_	当会																			
		事項																			

	No. 8 —	18 基本事務事	事業名 環境基	基本条例(開発行為	為の計画届出等)に関する	事務事務	务事業名	環境基本条例	開発行為の計	画届出等)に関	間する事務	公的関与	4	シート作成日	平成25	年6月28日
	部局名		市民部		課名	環均	竟衛生課		と 務課長	名	藤	川靖人	シ	/一ト作成者名	1	木英司
	事業区分	① 1 ソフト	事業	•	3 経常的事務	務事業	○ 5 衫	輔助金∙負	担金・支	援	主業温	営方法	1	直営	<u></u> 3 ≤	è部委託
	争未应力	O 2 /\-\	事業	0	4 施設の維持		O 6 P	内部管理:	事務・その	の他	尹未理	呂刀広	2	一部委託	□ 4 ¾	甫助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環境	境のまちづくり			実	施計画				事:	業の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施	<mark>题策)</mark> (1)	環境の保	ママン 創造			○ 1 i	核当		平成	年	~	平成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(2)	自然環境	負∙景観の保全	:		● 2 ∌	丰該当		根拠法	去令等				
		対象(誰を、 何を)	開発行為	為を行う事	業者が開発計画	書により	/届け出を	行い、環	境保全に	努める。						
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		い街造りを推進 のある街造りを			な恵まれる	た自然環	境や生活	5環境を	き守り、現	在及びま	卡来に亘り自然と	:調和した	健康で夢と希
PL		たいのか)	今年度													
AN				舌動を行し	いますか。(主た	なもの5	つまで)									
N		① 開発計画	「の協議													
	事業の	 計画書の 														
	活動内容	③ 環境審議	会の開催	É												
		4														
		5														
		指標:	名 <u> </u>	-	スは指標設定理		位		平成 23	年度	3	平成 24	年度	平成 25	年度	最終目標
	数値目標				対する事務事業			標								
	(事業の目的			ため、日荷	設定はなじまなし	, , °		績								
	及び活動内 容の達成度							標								
	谷の達成度 を測る指標)							:績								
	CW101011/							標								
	マ佐井口	会 計		ф.п.	. ∧ =I			養生		l -	= 0	注扫曲			:= +3 4/\;	75 建
	予算費目	会 計	ग		会計 3 年度決算	姓 1 元		衛生費 24 年	度決算	 平成		清掃費 5 年	度予算	目 1	清掃総	穷 質
		国庫支出		- 八、		异 T f円	-)火 2	4 4	及 			5 4	· 汉 / 异 千		1 開	
		県支出	金			千円			千円	4			 千F			
		地方	<u></u>			千円			<u> </u>				<u>''</u> 千F			
D	直接事業費	その他特定				千円			<u> </u>	_						
O		一般財	源						<u> </u>							
		計(A)	****		0 =				0 千円				0 ↑ F			
		正職員工数・	経費 0.	.100 人	604		100 人		596 千円) 人		588 千F	_		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		, ,							- •					
		臨時·嘱託工数		.000 人	0 =	千円 0.	000 人		0 千円	0.000) 人		0 千F	4		
	全体事	業費(A+B)			604 =	千円			<mark>596</mark> 千円				<mark>588</mark> ∓F			

				チェ	ック項目					_	-次評	価		一次評価				二次	評価	Ī
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	, (大きい	市の班高い。	環境保全の	ため	必要性は	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	₹況の中、次年	F度以降第	€施す	る緊急性が記	認められない。	. •	ない		ある					•	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の向	自上のために、	現在の手段	殳、 方	法等の改善の	余地がある。	0	ある		ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ)低下がみられ ごスとなってし		丘隣自	治体と比較し	してニーズを	0	いる	C	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容	学が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえな	い	いえる	無秩序	事な開発の	規制	に有効で	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	·ネリ化など、カ	を策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	•	いえな	いし	いえる					•	いえない	0	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複	夏した	- 事務事業が存	存在する。	•	する		しない					•	する	0	しない
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の	D向上が其	月待て	ごきない。		0	できな	い	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	こいる	と思う。		0	目標に	比べて	劣っている		環境総合計 度を高めま		策定によ	0	目標に比	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対	けして成果があ	あまり上か	べって	いないと思う	5 。	0	あまり_	上がって	いない	7,21,01.	文色同いの	7 0		0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		•	概ね道	成して	いる					•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成		こいると思う。	,	0	十分達	達成して	いる					0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い		適当		計画の策定 、自然環境			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	スのノウハウヤ	か新たな制	度を	た活用できる。		•	できる		できなし	へ の保全	に努め、市	民の	意識向	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	で、実施手	-段等	₹を見直す余 ^は	也がある。	0	ある		ない	上、日 - す。	主活動の助	大に	劣めま	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより	ノコス	スト削減の余5	也がある。	0	ある	(ない					0	ある	•	ない
						次評		I (n. 4 ==							次評		_			-
	評值	西点	必要性	有効性 2	達成原	芟	効率性 3	総合評			必要		有効性 2	達成.	<u></u>		生	総	合評 C	他
	今往	を の	○ 拡大・充	_		0	方法改善	〇 民間委託	托等	(<u>,</u> 大·充実		, 状維持	•	方法改善	善	〇 民間	l 引委i	£等
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	0	廃止/休止				〇 縮	-		終期設定	0	廃止/休				
ACT												=	次評価で	の指摘事	項及	び一次評	価と	の相違点	Į.	
10			本条例の目的 計画)の策定が		画的に推議	進する	ため、地域 環	境総合計画 ()	環境。		自然環	境や生活	5環境を守る	るため、本語	条例は	こ基づく開	発の	制限は有	効な	施策で
N		革案 実行 ·画	全市的な環境 図れるよう、環					ついて審査、整	合性	が	广。適	Eな運用	を図ってくた	ささい 。						
		員会 i事項																		

	No. 8 —	19 基本事務事	業名 阿沙	皮市汚水	処理構想業務	务 事	務事業名	万 阿波	市汚水処理構	想検討	 委員会事務	公的関与	3	シート作品	戊日 🖺	平成25年	6月26日		
	部局名		市民部		課名	環	境衛生調	₹	主務課	長名	藤	川靖人	•	シート作成	者名	古	2		
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事	務事業	5	補助:	金·負担金·	支援	中 恭 温	学士法	∠ 1	直営		3 全	部委託		
	争未区万	O 2 / 1 - 1	事業	○ 4 施設の維持管			理 ● 6 内部管理事務・その付			の他	を 他 事業運営方法 □ 2 =			2 一部委託	一部委託 □ 4 補助等				
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環	しい環境のまちづくり 実施計画 実施計画							事業の開始・終了							
	総合計画	基本計画(施	(3))下水道 <i>0</i>)整備			0	1 該当		平成	19 年	~	平成	年 [✓ <mark>期間</mark>	設定なし		
		主要施策	(1)	汚水処理	に関する全市	1的な計	計画の策定 ○2非				根拠法令等 阿波			5汚水処理(会則				
		対象(誰を、 何を)																	
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	的阿波市全域の汚水処理計画の検討															
PL			今年度	度 市場地区特定環境公共保全下水道事業の見直し															
AN					ハますか。(主														
N)	水適正処	D理構想策	定書に基づき	構想の具	具体策を検	食討す	る。										
	事業の	2																	
	活動内容	3																	
		4																	
		5																	
		指標	名	計算式又	スは指標設定	理由	単位		平成 2	3 年	年度 平成 24 年度			平月	えい 25 左	丰度	最終目標		
	数値目標	会議の開催		開催回数				目標			1			1 3					
	(事業の目的	女戦 の が 座		加压自从			- 5	実績			0			0					
	及び活動内							目標											
	容の達成度を測る指標)							実績											
	で測る指標)						目												
		A		45 A 5 '			実				- 1.41-4								
	予算費目	会 計			:会計			衛生				清掃費		目	1 1 清	青掃総務	費		
				Z 成 2	3 年度決		平成	24	年度決算	_	平成 2	25 年	=度予算			備考			
		国庫支出金		千円			千円							円					
		県 支 出 金		千円			千円			_	千円								
	直接事業費	地 方 債		千円			千円			千円									
D		その他特定財源		千円			千円			千円									
0		一般財源		千円					Ŧ					円					
		計(A)		0 千円			1.000 人		0 ∓		1000 1 700			円					
	L /4	11.00		.000 人	00 人 6,044 千円				5,961 千	円 1	1.000 人 5,882			-円					
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		000 '															
		臨時·嘱託工数·経費 (業費(A+B)		.000 人	6.044		0.000 人		0 5 961 チ	_).000 人	F	0 1						
	■ + 1/1 + =	ま有(ATB)			n U44	+ H I			2 AD 1 +	H		כ	00/ 1	- I					

ブーックで D									一次評価				一次証件の説明					– ਅਰ∃ਰਾਸ਼							
				チェック項目							一次記	半個		一次評価の説明 阿波(市場)特定環境保全公共				二次評価			i				
	必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。								い	● 大き	きい	下水道事	業は、認可	可を引	受けて計	0	少ない	•	大きい				
		2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない									ある	Ò	画をしていたが処理場予定地が 白紙撤回となり、計画実施も認 可の撤回もできない現状の中で 採択された事業ゆえ変更してで					ない						
			住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。									○ ない	١						ある	0	ない				
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。									● いな	ίlι		た事業ゆえべき事業で		0	いる	いない						
	有効性	1.	施策の目的を実	実現するために	•	いえた	はい	○ いえ	.a		は、自然現		•	いえない	○ いえる										
		2.	事業内容のマン	0	いえた	はい	● いえ	<u>る</u>	つと思わ	れる。事業	実が	正には多	0	いえない	•	いえる									
CH		3.	市が実施する	0	する		しな	١١١		と労力を 好な環境を		0	する	•	しない										
EE		4.	事業の継続を	しても成果の	0	できた	はい	● でき	る	めには労 す。	•	できる													
ECK	達成度	1.	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。													○ 目標に比べて劣っている									
		2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。)上がっ	ていない		は実施し	てないが、	ある	程度の	•	あまり上が	ってい	ない				
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。								達成し	ている		方向性を	概ね達成している										
		4.	. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。								達成し	ている							○ 十分達成している						
	効率性	1.	効果に比べて		0	○ 高い		● 適当		多額の予算と人員が必要となり、多面的検討及び変更を要す					高い	•	適当								
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。								3	○ でき	ない	るのは確	実だが、糸	密な	は計画を	•	できる	0	できない				
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。								る の ない			■ 立てて可能な範囲で実施すべき ことです。				0	ある	ある					
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。									● ない	١					0	ある	•	ない				
							二次評価																		
	≣ज /	西点	必要性	生 有効性 達成度			効率性 総合評				必要性		7	有効性	達成度		効率	生	総	総合評価					
	<u>-</u>	三元	3	3	2		3	D	1			3		3	2		3			D					
	今征	後の	○ 拡大・充	実 📗 🔾 現物	犬維持	•	方法改善	○ 民間委	託等		\bigcirc \dagger	広大・充	実3	○ 現状	忙維持	•	方法改善	善		『委訓	£等				
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	0	廃止/休止				〇 f	宿小		統合/終	期設定	\bigcirc	廃止/休	止							
C				•									二次	評価での	指摘事項	及7	ゾー次評	価と	の相違点	į					
CTION			予算及び人員の確保を図り、マニュアルに沿った手順を実施していく必 ます。									韦汚水 過	 宣正	1理構想策	定書に示	され	た、市全場	或の流	5水処理を	主実施					
	と될	革案 実行 画													あため、財政 検討、協議			感し7	よから、よ	 ある ない いない いえる かいえる しない ない できる に比べて劣っている り上がっていない 達成している できない ない ない ない ない を許価 区間委託等 					
		員会 i事項																							